



2026年度

箕沖 1 号線 4 号橋

福山市 箕沖 町 地内

橋梁修繕工事 実施設計書

工 事 概 要	当初設計		
	工事延長	L=6. 0m	
	橋長	L=2. 4m	
	有効幅員	W=14. 4m	
	ひび割れ補修工	L=36m	
	断面修復工	V=1m3	
	表面含浸工	A=61m2	
	下面増厚工	A=24m2	
	排水施設工	L=0. 6m	
	橋梁用防護柵工	L=7m	
	舗装工	A=62m2	
	仮設工	一式	

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- ・本特記仕様書は、橋梁修繕工事（箕沖1号線4号橋）に適用する。
- ・本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
- ・令和8年8月 広島県 土木工事共通仕様書、「設計図書（別冊図面、仕様書）」、「福山市建設工事執行規則」、「福山市工事検査技術基準」
- ・その他関連規格類
- ・小黑板情報電子化を実施しない工事写真について、監督員の承諾を得る必要はないものとする。

第2節 工程表の提出について

- ・契約締結後14日以内に設計図書に基づいて、工程表を作成し、発注者に提出すること。工期の変更契約についても同様とする。

第3節 地元への周知

- ・受注者は、監督員と協議し、地先住民、町内会長、土木常設員に工事着手及び工事完了の報告を行うこと。また、工事着手に先立ち地先住民及び貸借人には具体的な施工内容、方法、時期等の説明を行い、承諾を得ること。
- ・受注者は、工事着手の際に、あらかじめ沿線地権者に施工内容等についての説明を行い、承諾を得ること。

第4節 施工承認図の作成

- ・受注者は、受注後、設計図書に基づき現地を照査し、施工承認図を作成し監督員に提出すること。

第5節 情報共有システム

- 1 本工事は、受注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 受注者は、情報共有システムの利用対象としないことを希望する場合は、契約後すみやかに発注者にその旨を協議し、承諾を得ること。
- 4 受注者は、情報共有システムの利用に当たり、（一社）広島県土木協会に利用申込みを行い、利用料を支払うものとする。
- 5 受注者は、情報共有システムの利用にあたり、情報共有システム利用手引に基づき運用すること
- 6 工事情報共有システムの完了後のデータ受理方法について
作成者：受注者
納品方法：CD、DVD
作成方法：「情報共有システム→共有書類・検査支援→一括ダウンロードしたデータ

第6節 工事に着手すべき期日について

- ・受注者は、工事開始日以降30日以内に工事着手しなければならない。

第7節 法定外労災保険の付保について

- ・本工事は、法定外の労災保険契約の保険料を見込んでいる。

第8節 保安施設設置基準について

- ・工事標示板及び工事説明看板の挨拶文の記載については、広島県保安施設設置基準に準じたものにする。

第9節 再生資源利用計画の現場掲示

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

第2章 材料

第1節 大型土のう

・次のいずれかの要件に該当する場合は、袋体が破損する恐れがあるので「耐候性大型土のう積層工法」設計・施工マニュアル第2回改訂版（令和5年5月）で要求される性能（19項目）を全て満たした製品を使用すること。

- (1) 容量1m³当たりの中詰材重量が10kNを超える場合（20kN未満）
- (2) 2か月を超えて屋外へ使用する場合（3年未満）

第3章 施工条件

第1節 関係機関との協議

- ・協議先機関名：広島県警察福山東警察署
- ・協議内容：工事に伴う交通規制について

第2節 検査期間

- ・本工事の工期は、工事検査期間として、14日間を見込んでいます。

第3節 交通誘導警備員

- 1 片側交互通行及び通行止め等の交通制限を行う場合は、関係官公署の許可条件を遵守し、関係機関との協議を十分に行うこと。また、地域の地元関係者等周辺を利用する市民への周知徹底を図り、安全かつ円滑な交通を確保して事故発生の無いように努めること。
- 2 作業現場、作業用地内の整理整頓に留意して必要な安全施設の設置等を行い、関係者以外の立ち入りを禁止して危険防止に努めること。
- 3 本工事における交通誘導員は、交通誘導警備員Bを見込んでいます。尚、交通誘導警備員の実施伝票は原本を提出すること。
- 4 本工事において交通誘導警備員の積上げ人数は、交通誘導警備員の対象となる施工量に対し作業日当たり標準作業量から必要な人数を見込んでいます。したがって、正当な理由がある場合を除き、施工実績等による交通誘導員の積上げ人数の増員に対する変更は行わない。
- 5 受注者は、工事着手に先立ち、交通誘導警備員の配置計画（配置日数及び配置場所）を作成し、監督員と協議すること。

第4節 任意仮設

- ・本工事に伴う以下の内容の仮設工は、積算用参考図に見込んでいます。なお、積算用参考図は任意仮設の積算内容を示したものであり、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。
- ・内容：仮設工

第5節 購入土（搬入）（新材料）

- ・本工事では土砂購入を見込んでいます。
- ・新材料の購入土砂を見込んでいますが、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用することが可能である場合は、その使用に努めるものとする。ただし、使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

第6節 建設副産物について

(1) 工事受注者は、工事着手前に、次の書類を本工事の監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先の現地確認写真を提出すること。

1 建設廃棄物処理計画書

- ・廃棄物処理業者（収集及び運搬）の許可証の写し（許可車両の自動車登録番号一覧及び自動車検査証の写しを含む）
- ・廃棄物処理業者（中間処理・最終処分）の許可証の写し（再生資源化施設にあっては、それを示す書類を含む）
- ・運搬ルート、処分場の位置、事業の範囲、処理能力及び処理方法を明示したもの
- ・各処分場の現地確認写真
- ・建設工事の受注者と処理業者（収集、運搬、中間処理・最終処分・再資源化施設）との二者の業務委託契約書の写し

2 再生資源利用計画書

3 再生資源利用促進計画書

(2) 工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い建設廃棄物及び特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に次の書類を監督員に提出すること。なお、建設発生土については、処分先への搬入状況の写真を添付すること。

1 再生資源利用実施書

2 再生資源利用促進実施書

3 建設廃棄物処理実施書

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し
（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）
- ・収集及び運搬の写真並びに中間処理場及び最終処分場（直接最終処分の場合のみ）への搬入状況の写真

第7節 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は、監督員と受注者が協議するものとする。

・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

・実施伝票は原本を提出すること。

第8節 特定建設資材廃棄物（アスファルト塊、コンクリート塊等）

- ・建設リサイクル法対象工事（請負代金額500万円以上）の場合、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を遵守し適正に処理すること。また、法第12条第2項に基づき、法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について下請負人に告知する場合は、告知書の写しを監督員に提出すること。

- ・特定建設資材廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という）を遵守し、適正に処理しなければならない。

- ・特定建設資材廃棄物は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設へ搬出し再資源化しなければならない。

- ・再資源化に要する費用（運搬費を含む処分費）は、広島県（環境局）及び保健所設置政令市（広島市、呉市、福山市）が廃棄物処理法に基き許可した適正な施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従って、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用（単価）は変更しない。なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、施設への受入が困難な場合は監督員と受注者が協議するものとする。

- ・搬出先においては、処分状況が確認できるよう、写真撮影を行うとともに、数量等が確認できるように計量伝票等を監督員に提出すること。

- ・マニフェスト（産業廃棄物管理票）の写し及び再生資源化に係るものについては受入伝票の写し（マニフェストは原則として環境省が示す全国統一のマニフェストを使用する。）

第9節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

- ・令和8年8月広島県土木工事共通仕様書で使用を義務づけている排出ガス対策型建設機械においては、第三次基準以上の建設機械の使用に努めること。なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 その他

第1節 その他項目

- ・本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

第2節 福山市週休2日適用工事について

本工事は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の対象である。詳細については、(別紙)福山市週休2日適用工事実施要領によるものとし、週休2日達成時に、経費の補正はなく、工事成績評定の評価を行うものとする。

福山市週休2日適用工事実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、持続可能な建設産業の実現に向けた労働環境の改善を目的とする週休2日適用工事の実施に関し、必要な事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この要領において「週休2日適用工事」とは、次条に規定する工事をいう。

2 この要領において「週休2日」とは、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定める条件を満たすものをいう。

(1) 完全週休2日(土日) 対象期間の全ての週(原則として、土曜日から金曜日までの7日間とする。以下同じ。)ごとに現場閉所又は現場休息(以下「現場閉所等」という。)を原則として土曜日及び日曜日に指定し、1週間に2日以上現場閉所等を行うものをいう。

(2) 月単位の週休2日 対象期間の全ての月ごとに現場閉所等の日数が、4週8休(現場閉所等の割合が28.5%(8日/28日)以上のものをいう。以下同じ。)以上であるものをいう。

3 この要領において「現場閉所」とは、巡回パトロール、保守点検等の現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場及び現場事務所が閉所された状態をいう。

4 この要領において「現場休息」とは、分離発注工事の場合に、各発注工事単位で、現場事務所での作業を含めて1日を通して現場作業が無い状態をいう。

5 この要領において「対象期間」とは、工事着手日(準備期間(契約上の工事の始期から現場事務所などの設置、測量、本体工事又は仮設工事のいずれか最も早い日までの期間をいう。)を除く。)から工事の完成日(後片付け期間(契約図書に基づく工事目的物の施工が全て完了し、余剰資材等の撤去、現場の清掃等、工事の完成検査を受けるために必要な作業を行う期間をいう。)を除く。)までの期間をいう。ただし、次の期間は対象期間から除くものとする。

(1) 年末年始6日間及び夏季休暇3日間

(2) 工場製作のみが行われている期間

(3) 災害時の緊急対応その他受注者の責めによらず、休工又は現場作業を余儀なくされた期間

(対象工事)

第3条 週休2日適用工事の対象となる工事は、請負設計金額が500万円以上の工事のうち、発注者が指定したものとする。

2 前項の規定にかかわらず、災害復旧工事等の緊急を要する工事及び施工に必要な実日数が短い工事(原則として、実日数が20日以内のもの)は除くものとする。

3 発注者は、第1項の工事を発注する場合は、入札公告及び特記仕様書又は現場説明書に週休2日適用工事である旨を明記するものとする。

(実施方法)

第4条 週休2日は、次の各号に定める区分に応じ、当該各号に定めるところにより実施す

るものとする。

(1) 完全週休2日（土日） 第2条第2項第1号に定めるところにより実施するものとする。ただし、対象期間内のうち、日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことで実施できるものとする。

(2) 月単位の週休2日 第2条第2項第2号に定めるところにより実施するものとする。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の現場閉所等では4週8休に満たない月又は日数が28日に満たない月においては、当該月の対象期間内の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所等を行うことにより実施できるものとする。

2 受注者は、工事着手までに監督員に対し、週休2日の実施の有無及び実施する週休2日の区分について申し出るとともに、実施する場合は、現場閉所（現場休息）計画表兼実績表（様式1）（以下「計画表」という。）を提出するものとする。なお、工事着手前に週休2日を実施しない旨を申し出た場合は、工事着手後の週休2日を実施する旨の申出は受け付けないものとする。

3 受注者は、天候を理由として現場閉所等を行う場合のほか、次に掲げる場合は、監督員との協議により工事着手後であっても週休日を変更することができるものとする。

(1) 品質管理、安全管理等のため作業を継続して行う必要がある場合

(2) その他工程の都合上やむを得ない場合

4 受注者は、当該工事が週休2日適用工事である旨を土木工事（港湾工事を含む。）及び農林工事にあつては標示板の見えやすい位置に記載して工事現場に設置し、建築工事にあつては施設管理者の承諾を得て公衆の見やすい場所に掲示しなければならない。この場合において、記載内容は、別記様式に定めるものを基本とするものとする。

5 受注者は、計画表に現場閉所等の状況を記入し、現場閉所等の状況が確認できる書類（工事日誌、出勤簿等をいう。）とともに毎月7日（7日が閉庁日の場合は翌開庁日）まで及び工事完成後速やかに、工事打合せ簿により監督員に提出し、確認を受けるものとする。

6 発注者は、受注者の週休2日を理由とする工期延長の請求については、認めないものとする。

7 受注者は、週休2日を実施できなくなった場合は、速やかにその旨及び理由を工事打合せ簿により監督員に報告するものとする。

（工事成績評定）

第5条 完全週休2日（土日）又は月単位の週休2日を達成したときは、工事成績評定表の「工程管理」及び「創意工夫」において評価するものとする。

2 週休2日を達成できなかった場合であっても、工事成績評定は減点しない。

3 請負金額が500万円未満の工事は、工事成績評定を行わないものとする。

（提出書類の虚偽）

第6条 受注者が計画表その他の提出資料に虚偽の記載等を行ったときは、指名除外措置の対象となる場合がある。

（その他）

第7条 この要領に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者とが協議して定めるものとする。

附 則

この要領は、2024年（令和6年）4月25日から施行する。

附 則

この要領は、２０２４年（令和６年）６月１０日から施行する。

附 則

この要領は、２０２５年（令和７年）６月１日（第４条第４項及び別記様式中農林工事に係る部分については、２０２５年（令和７年）１０月１日）から施行し、それぞれ改正後の規定の施行の日以後に積算した工事について適用する。

附 則

この要領は、２０２６年（令和８年）１０月１日から施行する。

① 土木工事及び農林工事

ご協力をお願いします	
週休2日適用工事	
〇〇〇〇〇を なおしています	
〇〇年〇〇月まで	
時間帯〇:〇〇~〇:〇〇	
〇〇〇〇工事	
発注者	福山市 〇〇〇〇課
	電話 000-000-0000
施工者	〇〇〇〇建設株式会社
	電話 000-000-0000

② 建築工事

週休2日 適用工事

(A3サイズ以上)

③ 共通

週休2日適用工事
この工事は、建設産業の労働環境を改善するため、週休2日の確保に取り組む工事です。
発注者：福山市〇〇〇〇〇〇課
受注者：〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

(A3サイズ以上)

掲示内容

土木工事・農林工事等については①及び③、建築工事については②及び③を基本とする。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 70 福山市 00-08.10.01(0)	《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン	
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0322 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032204 レベル3
低圧注入工法 【材料種類】	1	式			Y1G03220402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長36.30m		構造物			V1020037 00
断面修復工	1	構造物			単第0 -0001 表 Y1G032205 レベル3
左官工法 【材料種類】 【鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理の有無】	1	式			Y1G03220501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積1.302m3		構造物			V1020041 00
	1	構造物			単第0 -0003 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬処理工					Y1G032516 レベル3
	1	式			
殻運搬 【殻種別】		m3			Y1G03251601レベル4
コンクリート殻積込・運搬(断面修復工) [無]DID区間 運搬距離_1.0km以下	1	m3			S1020051 00 単第0 -0005 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03251602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	3	t			T9005 00
表面含浸工	1	式			Y1G032206 レベル3
表面含浸		m2			Y1G03220601レベル4
下地処理 時間的制約無し 高所作業車無し	61	m2			F0000000020 00

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面含浸工 亜硝酸リチウム併用型表面含浸材 時間的制約無 高所作業車無	61	m2			V000000100 00 単第0 -0007 表
下面増厚工	1	式			Y1G032206 レベル3
下面増厚工		m2			Y1G03220601レベル4
下面増厚工法 D10@100×D6@100, D10@60×D6@100, t=26mm	1	式			V000000300 00 単第0 -0008 表
橋梁付属物工	1	式			Y1G0319 レベル2
排水施設工	1	式			Y1G031903 レベル3
水切り工 【柵規格】		式			Y1G03190301レベル4
水切り工 EPDM系ゴム 25×20×1,000	4	m			V000000200 00 単第0 -0019 表
排水管 【管規格】		m			Y1G03190302レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋梁_排水管設置 足場無し	0.6	m			SPK26040408 00 単第0 -0020 表
天板一体型排水装置 床版下面 後付用 (φ76.3鉛直タイプ) 20 M10×120 (1-SW,1-W,2-N含む)	1	基			F0000000009 00
橋梁用高欄工	1	式			Y1G031906 レベル3
橋梁用高欄 【材質,作業区分,高欄形式】		m			Y1G03190601レベル4
橋梁用高欄 一体式	7	m			SPK26040295 00 単第0 -0021 表
アルミ合金製高欄兼車両用防護柵 (C種) Aタイプ製品高さ950mm Bタイプ製品高さ850 定着 鋼製ベース+樹脂カップセルアンカー式	1	式			F0000000010 00
高欄撤去	7	m			SPK26040122 00 単第0 -0022 表
現場発生品運搬 【発生材種類】		回			Y1G03251603レベル4
現場発生品及び支給品運搬 クレーン装置付 通称4〜4.5t積2.9t吊 片道運搬距離2.0km以下	0.3	t			SPK26040410 00 単第0 -0023 表

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
【機器単体費】 共通仮設費[対象外], 現場管理費[対象外] 一般管理費[対象外]					#0046
鉄屑(ヘビーH3) 厚さ1mm以上3mm未満,幅高500mm以下 長さ1,200mm以下,質量1,000kg以下	0.3	t			F0000000022 00
舗装工					Y1G0302 レベル2
	1	式			
舗装打換え工					Y1G030202 レベル3
	1	式			
舗装版切断 【舗装版種別,舗装厚】					Y1G03020201レベル4
		m			
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	22	m			SPK26040304 00
					単第0 -0024 表
舗装版破碎 【舗装版種別,舗装版厚】					Y1G03020202レベル4
		m2			
舗装版破碎 アスファルト舗装版 障害等無し 舗装版厚15cm以下	62	m2			SPK26040303 00
					単第0 -0025 表
殻運搬 【殻種別】					Y1G03020205レベル4
		m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離0.5km以下	3	m3			SPK26040155 00 単第0 -0026 表
殻処分 【殻種別】		m3			Y1G03020206レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	7	t			T9006 00
不陸整正 【補足材有無,補足材種類・規格】 【補足材整正厚】		m2			Y1E02040101レベル4
不陸整正 補足材料無し	37	m2			SPK26040231 00 単第0 -0027 表
表層 【材料種類,材料規格,舗装厚,平均幅員】		m2			Y1G03020211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	30	m2			SPK26040241 00 単第0 -0028 表
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚50mm	25	m2			SPK26040241 00 単第0 -0029 表

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(歩道部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	7	m2			SPK26040244 00 単第0 -0030 表
橋面防水 【防水工種類】		m2			Y1E02040301レベル4
橋面防水工(新設) 塗膜系防水 アスファルト系 [規]200m2未満	25	m2			SS000253 00 単第0 -0031 表
仮設工	1	式			Y1G0326 レベル2
仮設工	1	式			Y1G032604 レベル3
仮設工		袋			Y1G03260419レベル4
仮設工	1	式			V000001400 00 単第0 -0032 表
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
投棄料 砂質土	9	m3			T9003 00

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
廃プラスチック処理費 耐候性(1年)大型土のう	15	袋			T9004 00
交通管理工	1	式			Y1G032621 レベル3
交通誘導警備員		人			Y1G03262101レベル4
交通誘導警備員B	54	人			R0369 00
※※直接工事費※※ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
※※共通仮設費計※※					
※※純工事費※※					

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
現場管理費 計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※工事原価※※					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額……… 率……………					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額……… 率……………					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
※※工事価格※※					
※※消費税相当額※※ 計算情報…… 対象額……… 率……………					
※※工事費計※※					
※※契約保証費計※※					

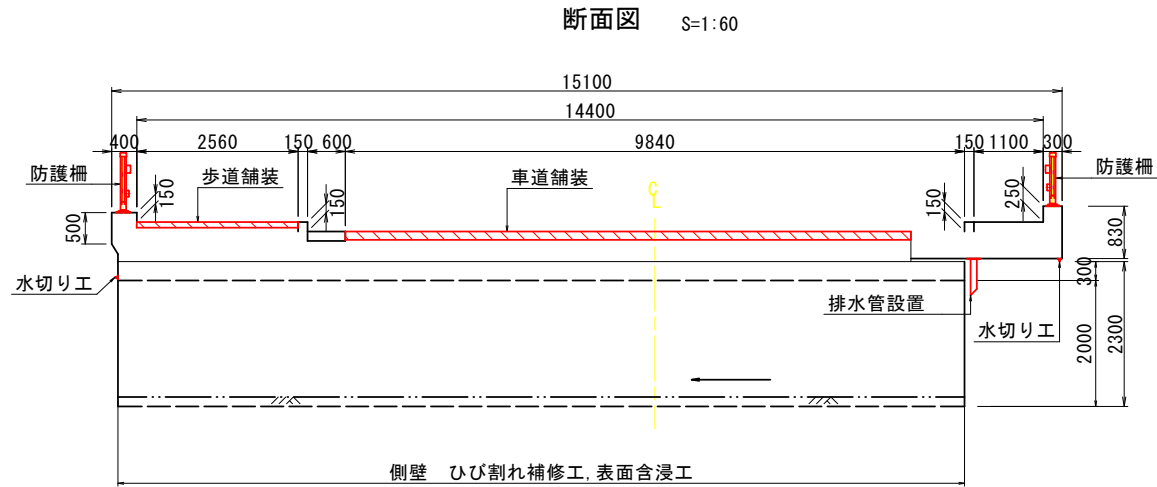
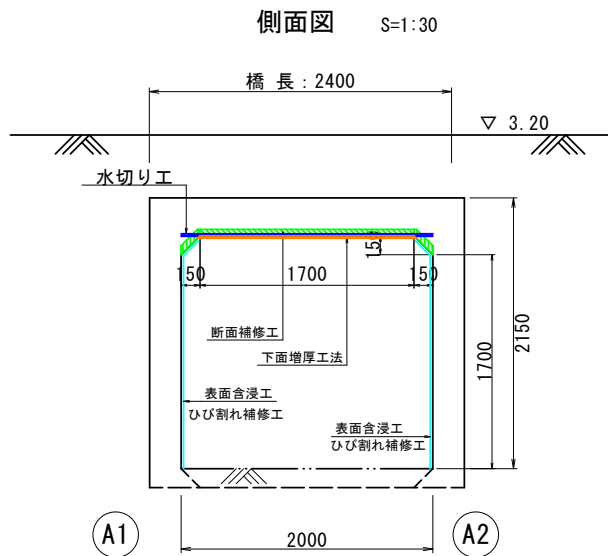


工事施工箇所

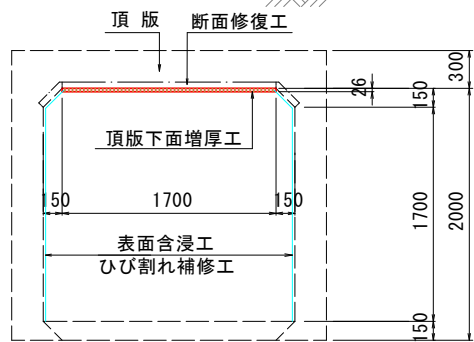
図面番号	1／12	縮 尺	S=1:10,000
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	位置図	番号	
路 線 名	箕 沖 1 号 線 4 号 橋		
工事箇所	福山市箕沖町地内		
福 山 市			

令和8年
国補

箕沖1号線4号橋 補修一般図



函渠工施工順序



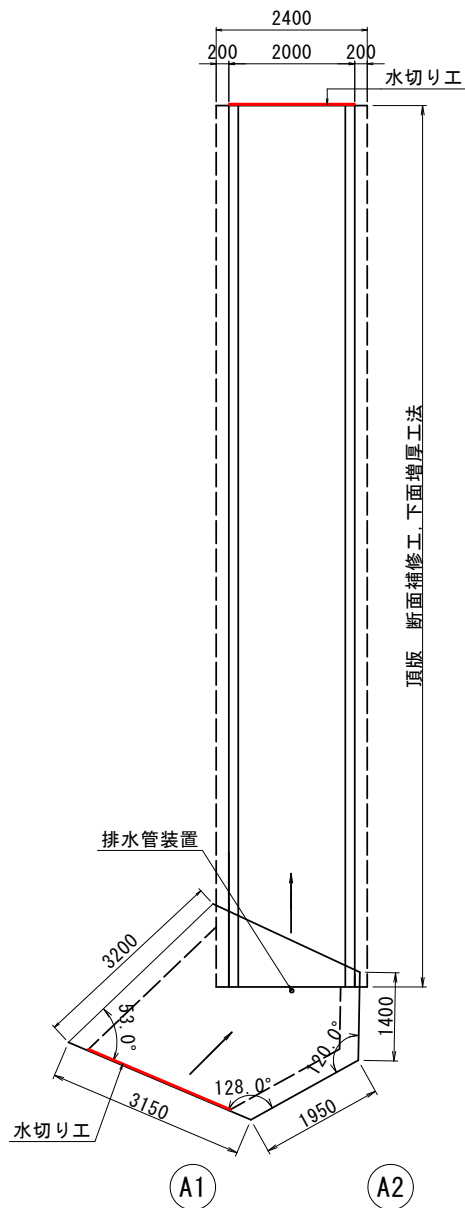
施工フロー

1. 調査工, 準備工
2. 頂版(ハンチ), 側壁のひび割れ補修工
3. 頂版(ハンチ), 側壁の断面修復工
4. ハンチ, 側壁の表面含浸工
5. 頂版の下面増厚工法
6. 片付け工, 完了

注) 各工法の詳細については、施工図を参照のこと。

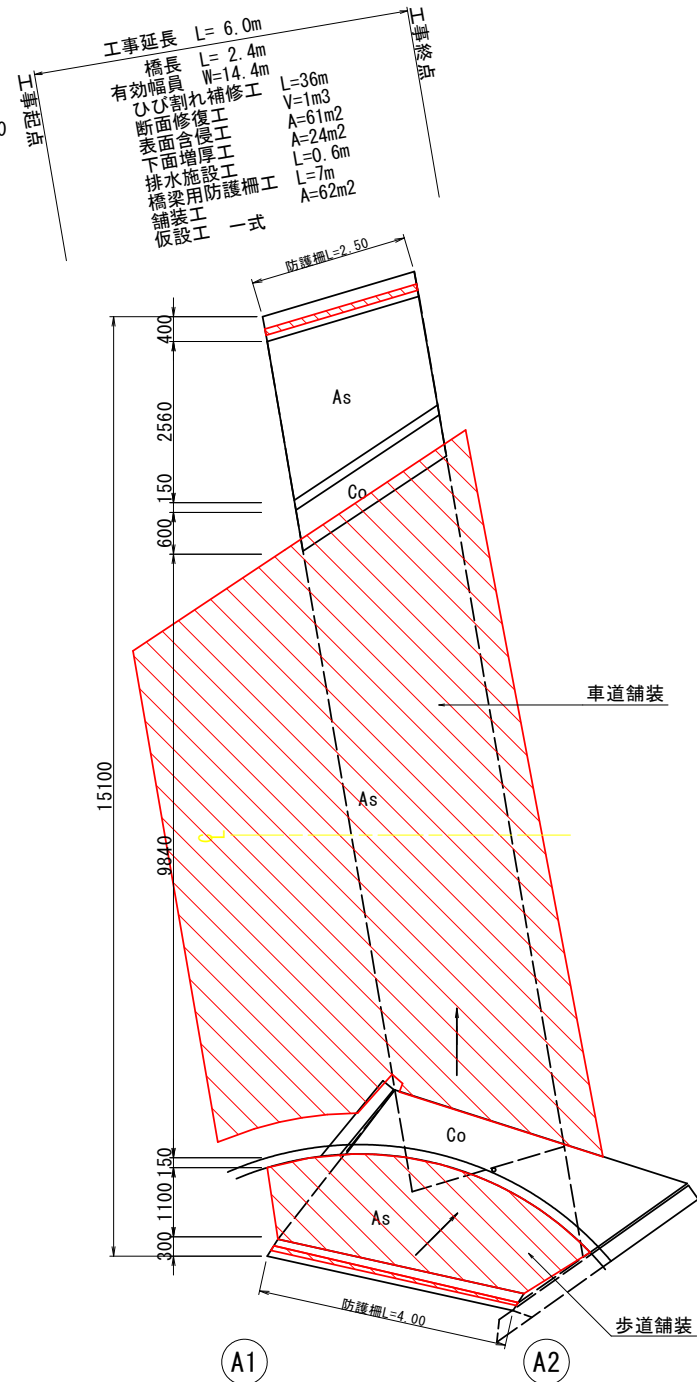
平面図 桁下

S=1:60



平面図 橋面

S=1:60



※この図面は縮小しています: A1→A3
設計年月: 2026年(令和8年)10月

図面番号	2 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修一般図	番 号	1 / 1
路 線 名	箕沖 1 号線 4 号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

令和8年度
国補

※ 本図は現地計測結果をもとに作成した復元図である。
標高は白地図からの引用したものである。

補修凡例

この図面は縮小しています：A1→A3
設計年月：2026年（令和8年）10月

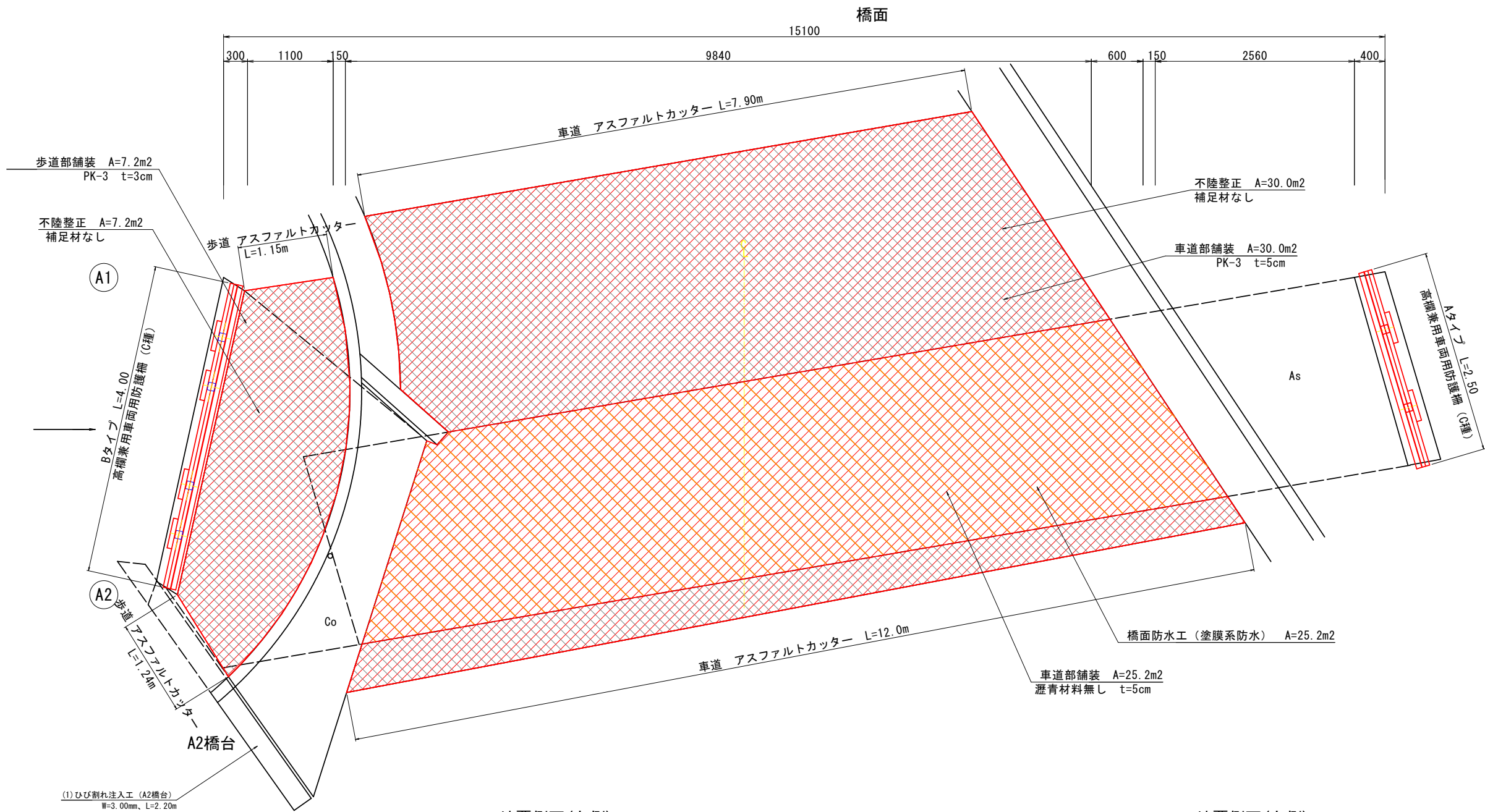
図面番号	3 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修図		
路 線 名	箕沖1号線4号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		

令 和 8 年 度
国 補

図面番号	3 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修図	番 号	1 / 4
路線名	箕沖 1 号線 4 号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

箕沖1号線4号橋 補修図(その2)

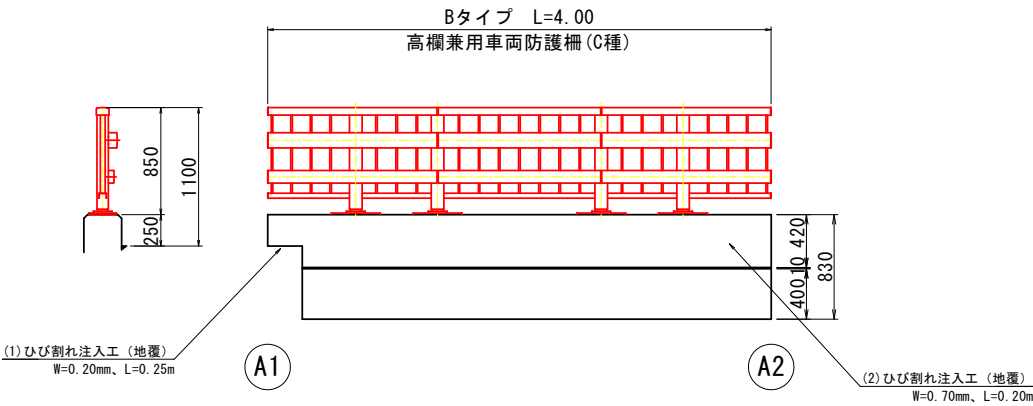
S = 1:30



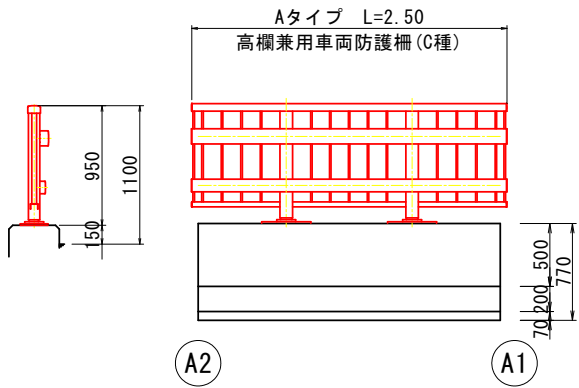
補修凡例

	長さ (m)	ひびわれ注入工	0.2mm ≤ W < 0.5mm
	長さ (m)	ひびわれ注入工	0.5mm ≤ W < 1.0mm
	長さ (m)	ひびわれ注入工	1.0mm ≤ W < 4.0mm
	断面修復工	W (m) x L (m)、A=m2、D (mm)	
	表面含浸工	W (m) x L (m)、A=m2	
	水切り工	L (m)	
	アスファルト舗装	W (m) x L (m)、A=m2	
	不陸整正	W (m) x L (m)、A=m2	
	橋面防水工	W (m) x L (m)、A=m2	

地覆側面(右側)



地覆側面(左側)

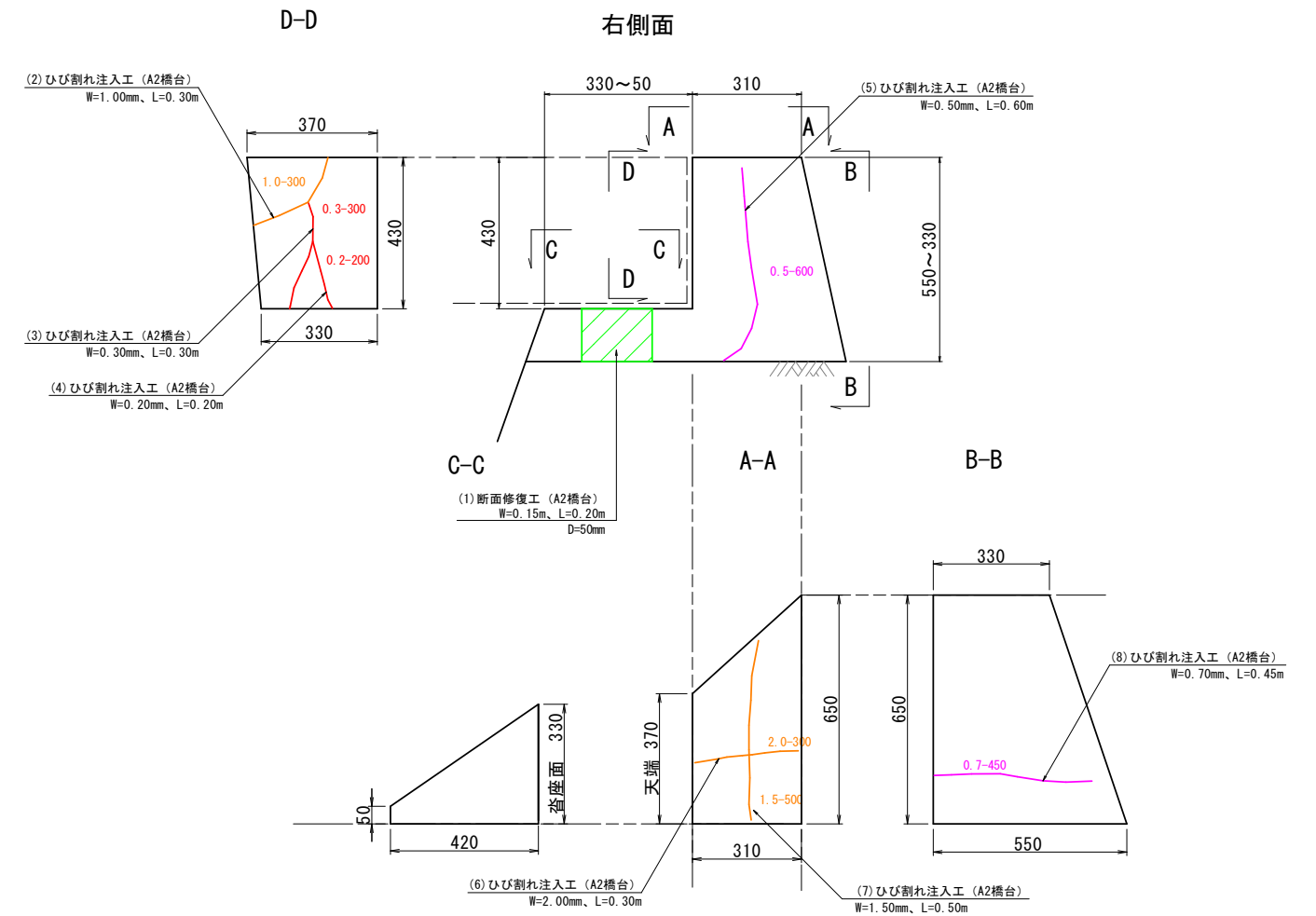
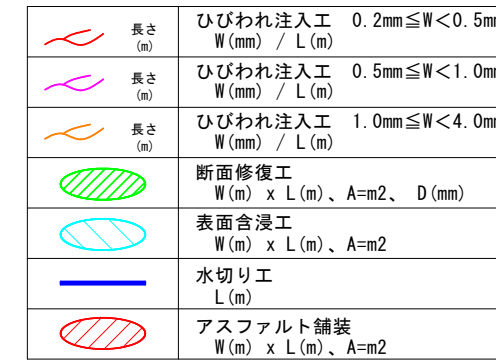


※この図面は縮小しています：A1→A3
設計年月：2026年（令和8年）10月

図面番号	4 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修図		番 号 2 / 4
路線 名	箕沖 1 号線 4 号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

令和8年度
国補

S = 1:30



図面番号	5 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修図	番 号	3 / 4
路 線 名	箕沖 1 号線 4 号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

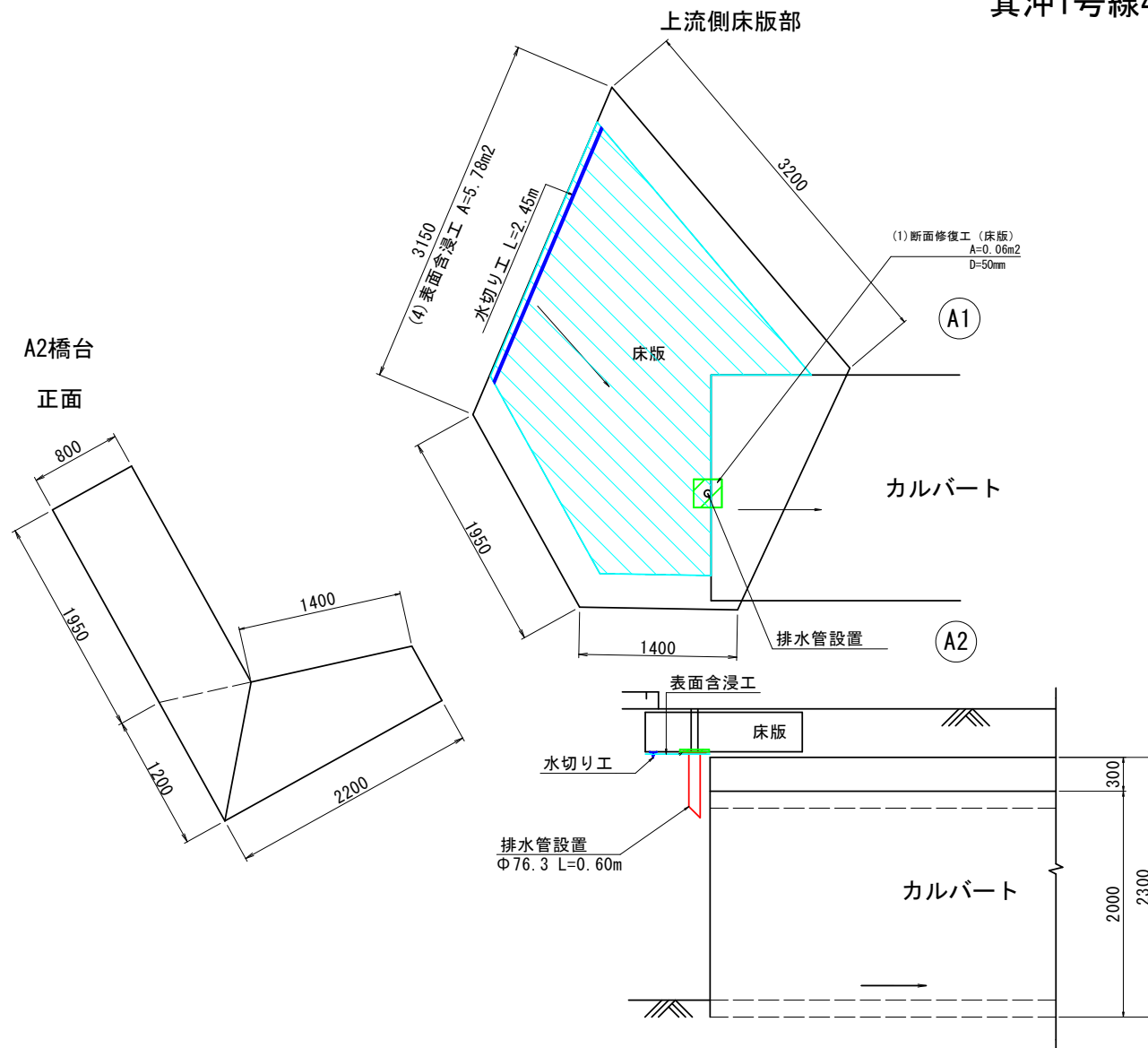


表1 排水管の構造

排水管

600

床版

カルバート

施工時
シーリング材注入

TP管65A
厚み2.0mm

90°

45°

φ76.3

600

リブ、フランジ加工

4-φ14長孔

4-ケミカルアンカー M10x120 (SUS304)
(1-SW、1-W、2-N)

36

36

200

200

リブ、フランジ加工詳細

2

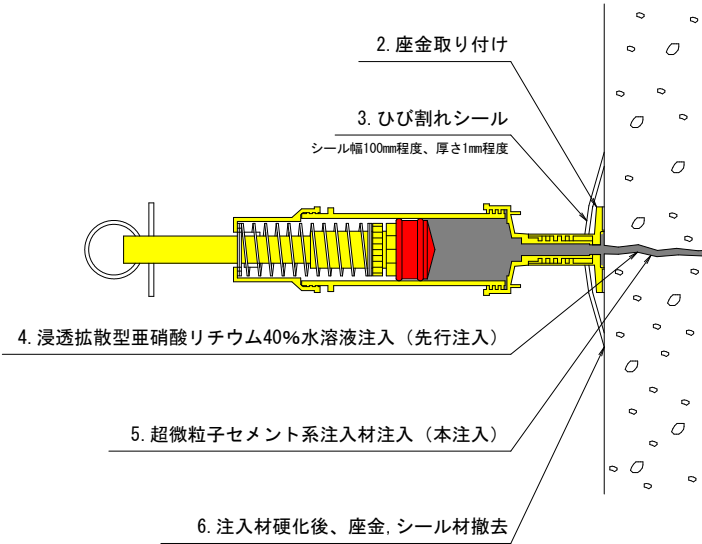
0

注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. t=2.0未満のステンレス鋼材溶接耐食性向上の措置を講じる。
3. 現地調査にて寸法確定後製作する。

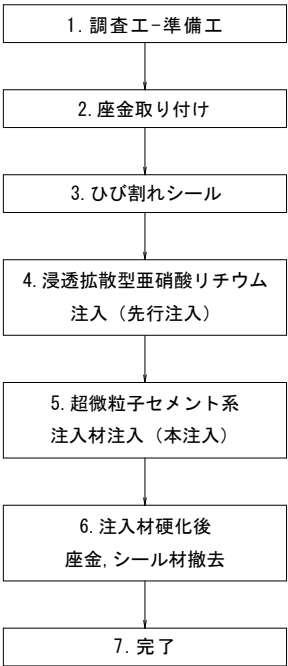
- 注) 1. 特記なき材質はすべてSUS304とする。
2. $t=2.0$ 未満のステンレス鋼材溶接部内外面に対し耐食性向上の措置を講じる。
3. 現地調査にて寸法確定後製作する。

箕沖1号線4号橋 補修図(その4)

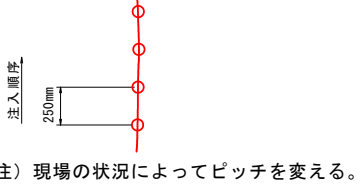
ひび割れ注入工



施工フロー

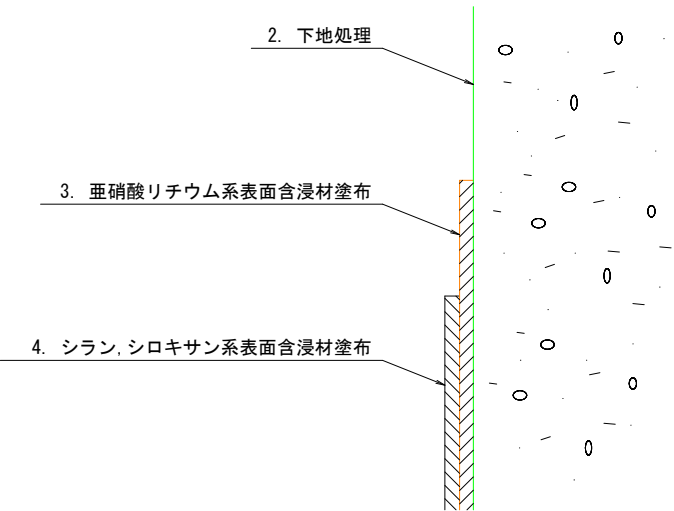


注入器具取付間隔

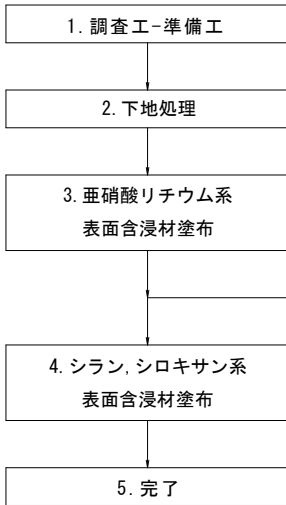


- 注) 1. 注入材をひびわれ内部に十分充填する為、全ての注入器具から注入を行うこと。
2. 本注入 (超微粒子セメント系) 前に、先行注入を実施する。
3. 注入完了後、注入効果を確認し注入効果が得られないことが判明した場合は、再注入を行う。
4. 指定された材料を規定量で施工する。

表面含浸工



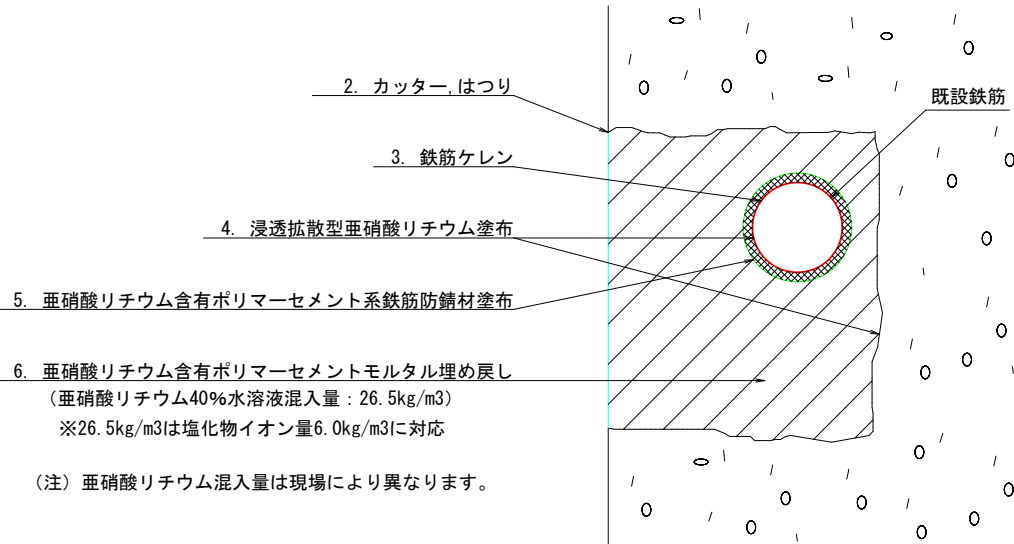
施工フロー



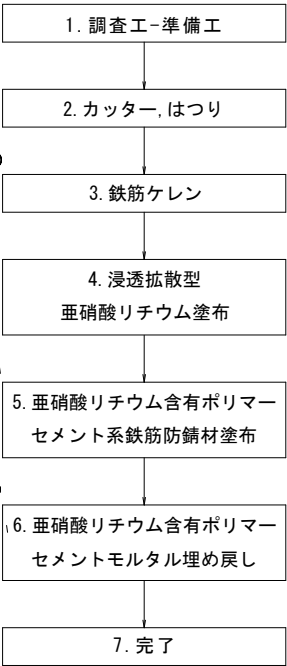
乾燥確認
(表面水分率6%以下)

注) 1. 指定された材料を規定量で施工する。

断面修復工

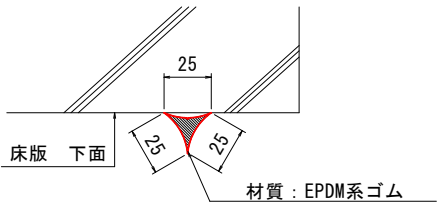


施工フロー

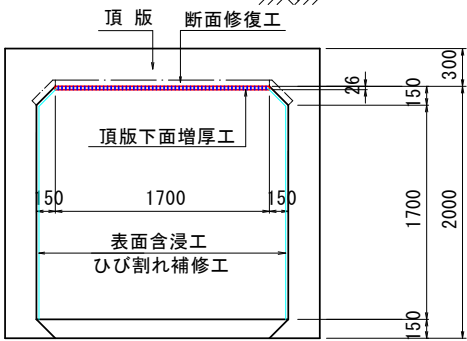


- 注) 1. 指定された材料を規定量で施工する。
2. 鉄筋の損傷が軽微であれば、鉄筋の中央までのはつりとしてモルタル等で修復する。
この時、発注者と協議を行う。

水切り工 S=1/5



函渠工施工順序

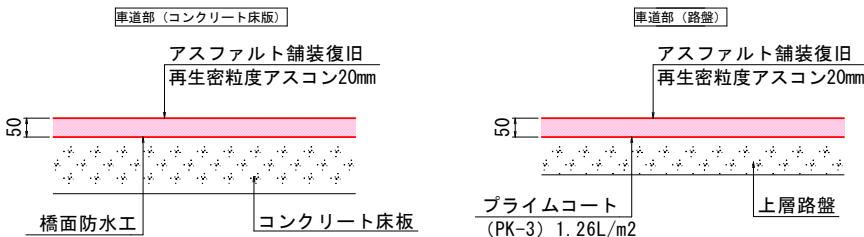


施工フロー

1. 調査工、準備工
2. 頂版 (ハンチ)、側壁のひび割れ補修工
3. 頂版 (ハンチ)、側壁の断面修復工
4. ハンチ、側壁の表面含浸工
5. 頂版の下面増厚工
6. 片付け工、完了

注) 各工法の詳細については、施工図を参照のこと。

舗装復旧工 S=1:10



注) 現況舗装を5cmと仮定している。

注) 現況舗装を5cmと仮定している。

注) 現況舗装を3cmと仮定している。

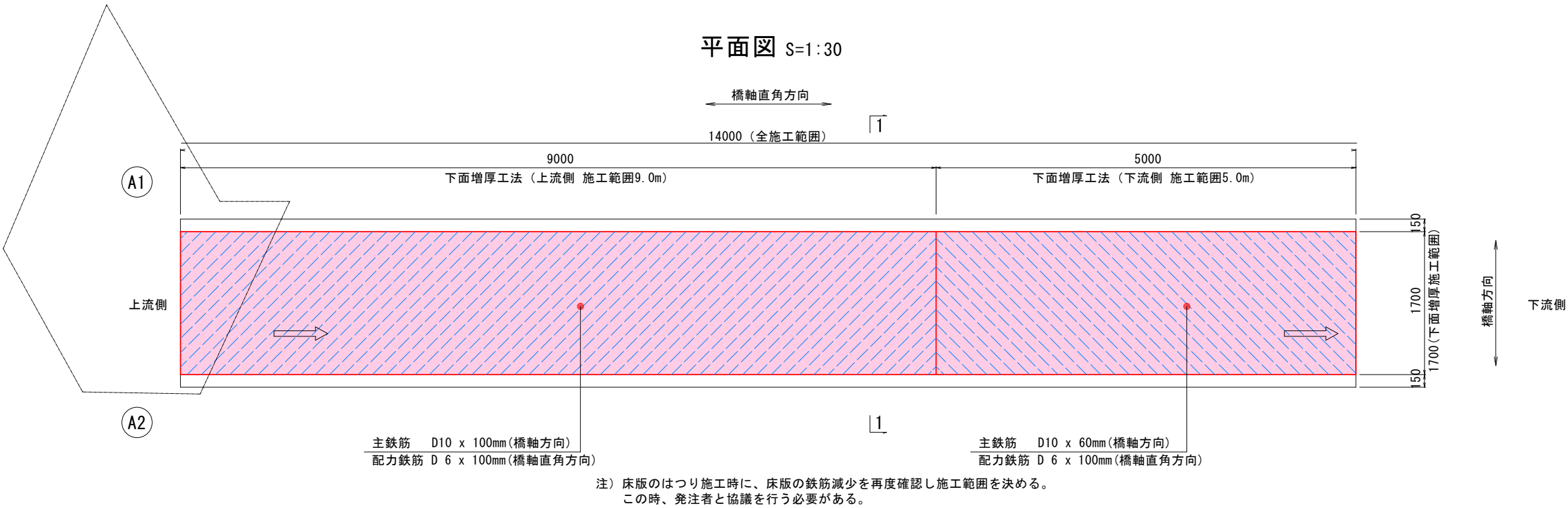
※この図面は縮小しています: A1→A3
設計年月: 2026年 (令和8年) 10月

図面番号	6 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修図	番 号	4 / 4
路 線 名	箕沖 1 号線 4 号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

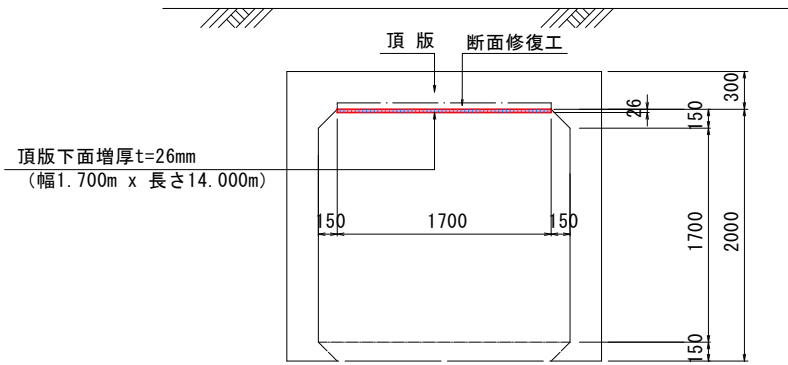
令和8年度
国
補

箕沖1号線 4号橋 補修補強図（その1）

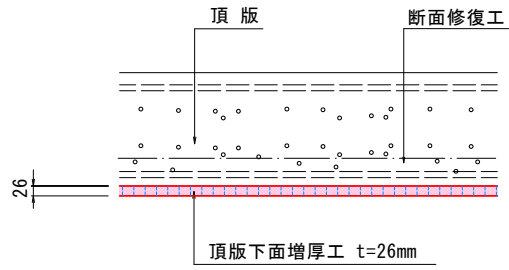
下面増厚工法



断面図 S=1:30
1-1



頂版補修断面 S=1:10



- 注記)
- 頂版下面の鉄筋露出、断面欠損、浮きの個所は、事前に断面修復すること。
 - 樹脂注入量は、頂版の損傷状況に左右されるため、変更あるものとする。
増減の場合は協議すること。
 - 下面に漏水がある場合は、必要に応じて増厚施工前に水抜きパイプを設置すること。



※この図面は縮小しています：A1→A3

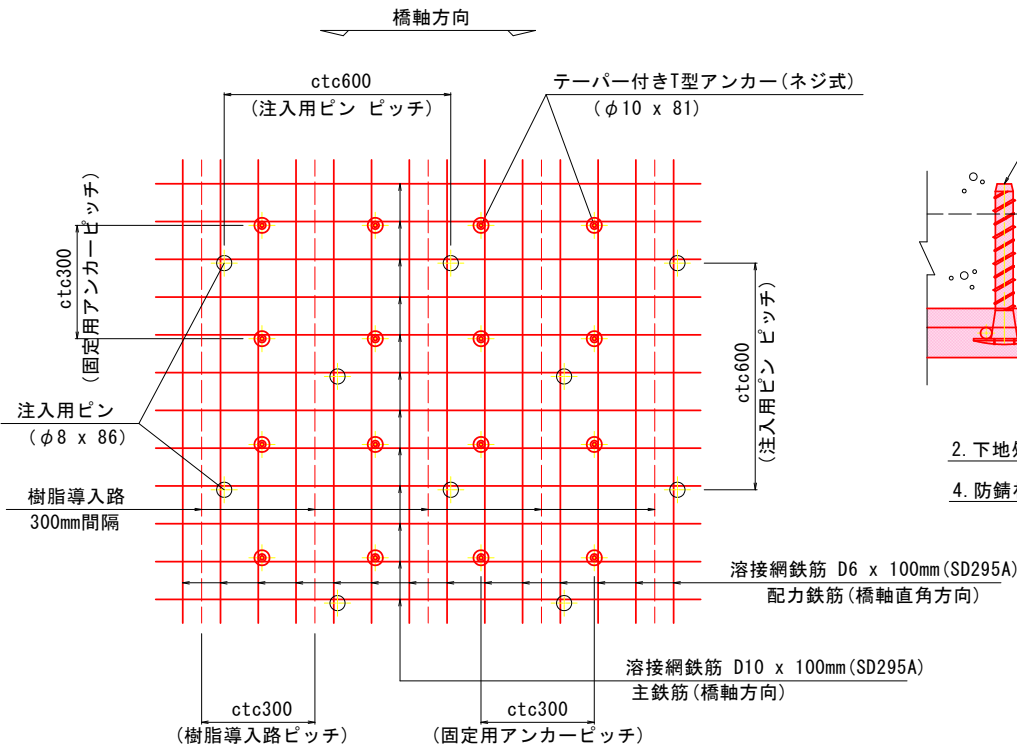
設計年月：2026年（令和8年）10月

図面番号	7 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修補強図	番 号	1 / 3
路 線 名	箕沖1号線4号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

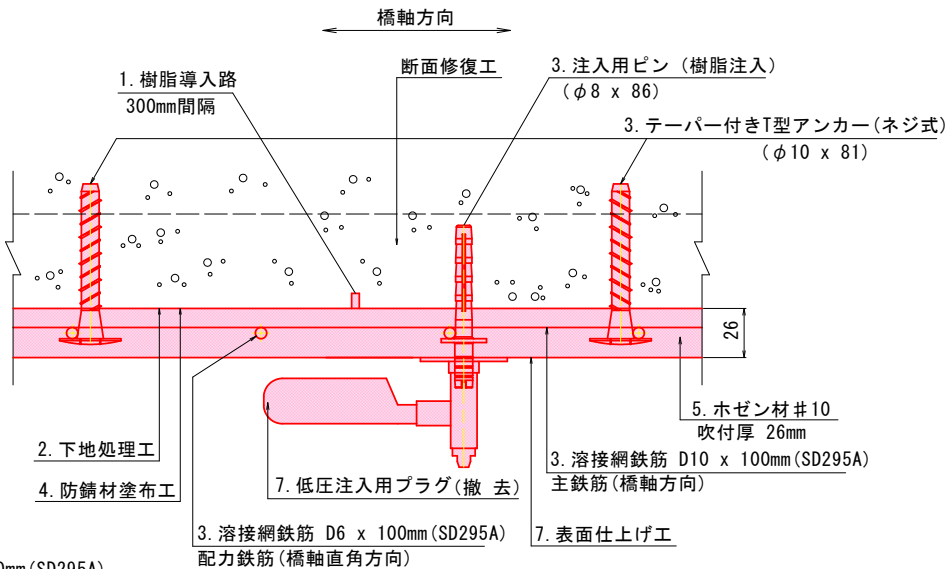
箕沖1号線 4号橋 補修補強図（その2）

下面増厚工法（上流側 施工範囲9.0m）

補修鉄筋配置図 S=1:10



補修断面詳細図 S=1:2



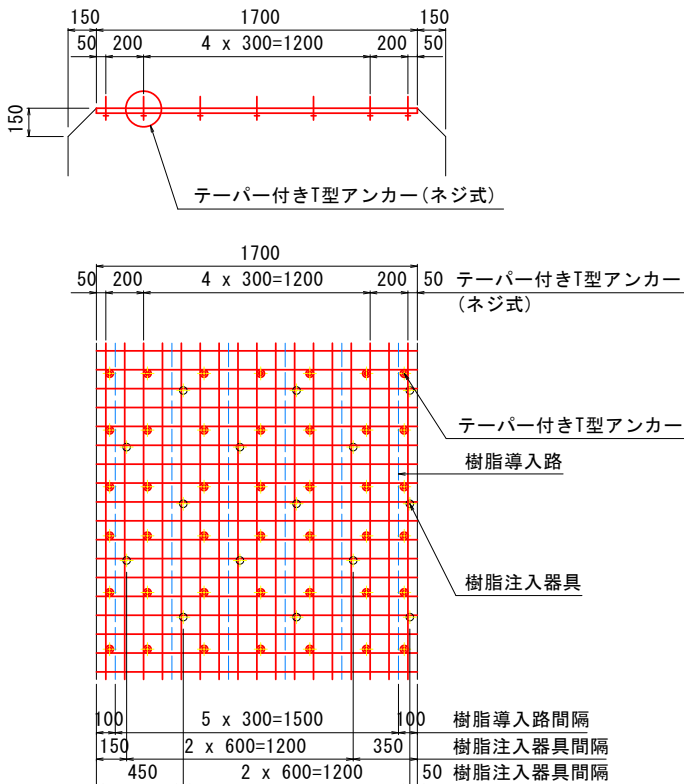
数量表

項目	規格	単位	数量	摘要
樹脂導入路設置工	カッター工（深さ7～8mm）	m	54.0	300mm間隔
下地処理工	サンダーケレン	m2	15.3	
溶接網鉄筋取付工	D10 x 100mm, D6 x 100mm	m2	15.3	SD295A
アンカー設置工	テーパー付きT型（ネジ式）（φ10 x 81）	本	217	
樹脂注入器具設置工	注入用ピン（φ8 x 86）	本	96	
防錆材塗布工	Fmプライマー	m2	15.3	0.3kg/m2
ホゼン材 #10 吹付工	t=26mm	m2	15.3	46.8kg/m2
樹脂注入工	超低粘度エポキシ樹脂	m2	15.3	
表面仕上げ工	ホゼン材 #1	m2	15.3	0.75kg/m2

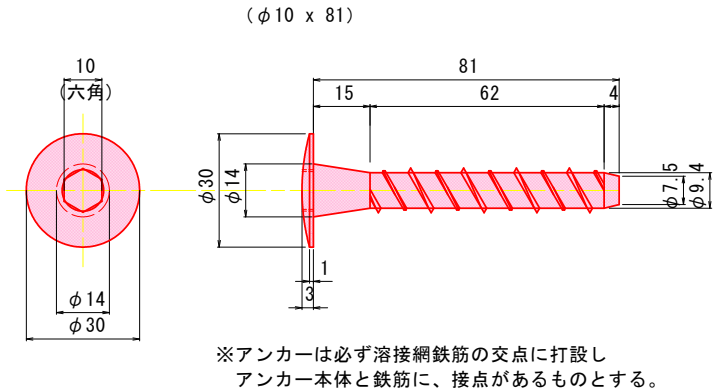
下面増厚工法施工順序

- 樹脂導入路設置工（カッター工）
- 下地処理工（サンダーケレン）
- 溶接網鉄筋取付工、アンカー設置工、樹脂注入器具設置工
- 防錆材塗布工（0.3kg/m2）
- ホゼン材 #10 吹付工（46.8kg/m2）
- 樹脂注入工（超低粘度エポキシ樹脂）
- 低圧注入プラグ撤去、表面仕上げ工（0.75kg/m2）

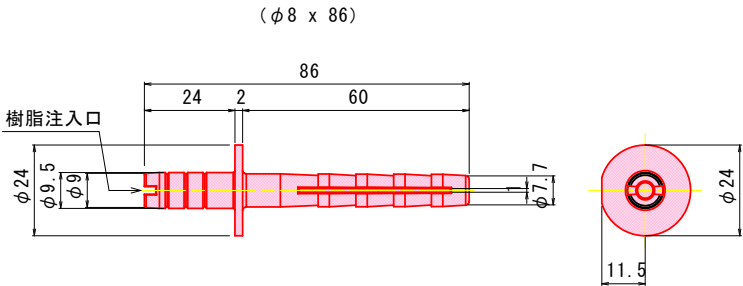
アンカー配列図 S=1:20



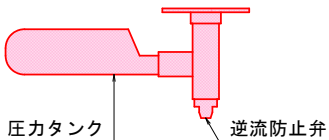
テーパー付きT型アンカー（ネジ式） S=1:1



注入用ピン S=1:1



低圧注入用プラグ S=1:2



注記)

- 溶接網鉄筋の重ね継手長は30d以上とする。
- テーパー付きT型アンカー（ネジ式）（FMS-10）の打設は、内側（センター）付近から外方向へ溶接網鉄筋に緊張を与えながら順次打設する。
- テーパー付きT型アンカー（ネジ式）（FMS-10）の本数は、溶接網鉄筋の重ね継手により変更あるものとする。また、本数の最終決定は、床版幅等の再調査を行った上、決定すること。



※この図面は縮小しています：A1→A3
設計年月：2026年（令和8年）10月

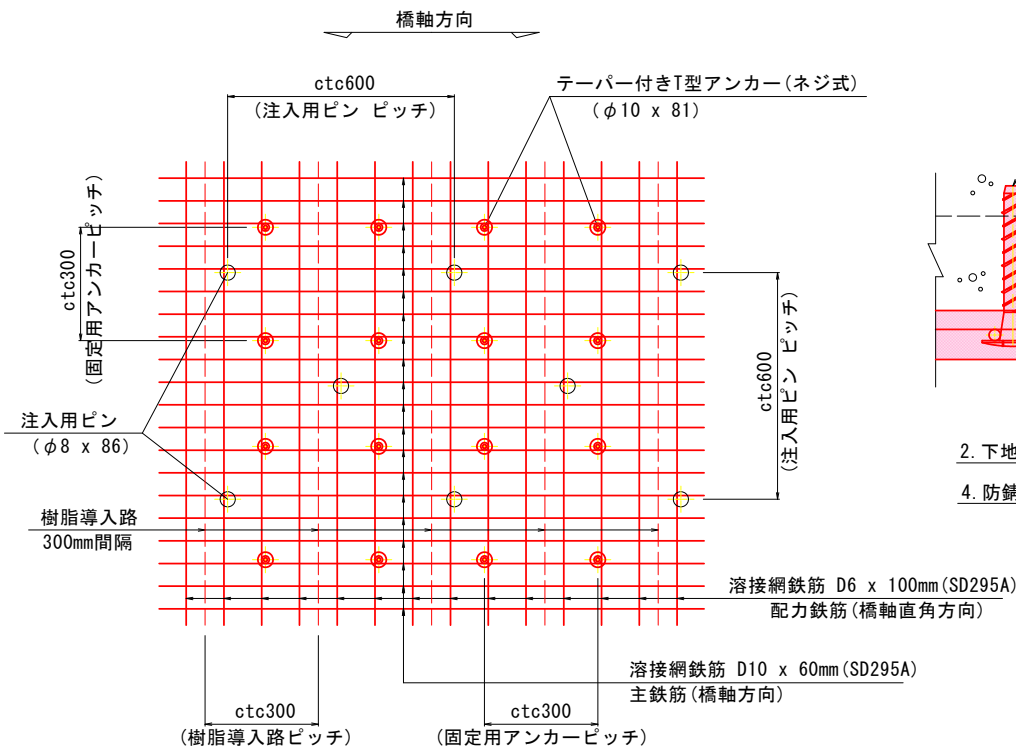
図面番号	8 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修補強図	番 号	2 / 3
路線名	箕沖1号線4号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

箕沖1号線 4号橋 補修補強図（その3）

下面増厚工法（下流側 施工範囲5.0m）

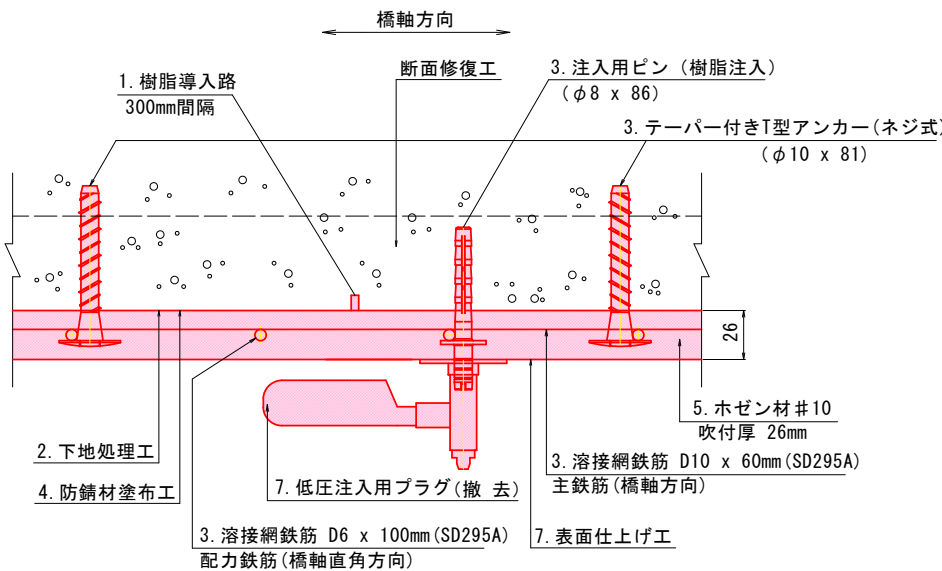
補修鉄筋配置図

S=1:10



補修断面詳細図

S=1:2



数量表

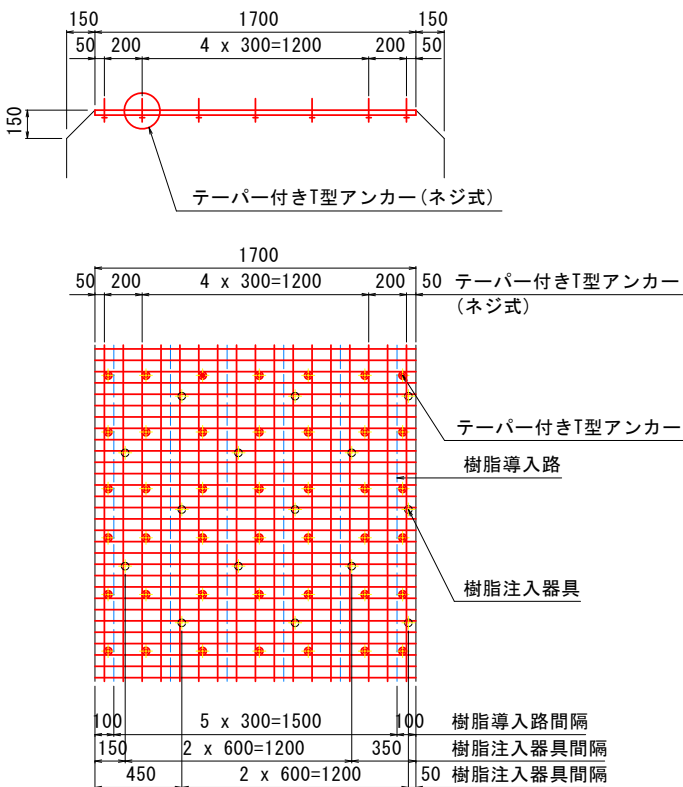
項目	規格	単位	数量	摘要
樹脂導入路設置工	カッター工(深さ7~8mm)	m	30.0	300mm間隔
下地処理工	サンダーケレン	m2	8.5	
溶接網鉄筋取付工	D10 x 60mm, D6 x 100mm	m2	8.5	SD295A
アンカー設置工	テーパ付きT型(ネジ式)(φ10 x 81)	本	126	
樹脂注入器具設置工	注入用ピン(φ8 x 86)	本	54	
防錆材塗布工	FMプライマー	m2	8.5	0.3kg/m2
ホゼン材#10 吹付工	t=26mm	m2	8.5	46.8kg/m2
樹脂注入工	超低粘度エポキシ樹脂	m2	8.5	
表面仕上げ工	ホゼン材#1	m2	8.5	0.75kg/m2

下面増厚工法施工順序

1. 樹脂導入路設置工(カッター工)
2. 下地処理工(サンダーケレン)
3. 溶接網鉄筋取付工, アンカー設置工, 樹脂注入器具設置工
4. 防錆材塗布工(0.3kg/m2)
5. ホゼン材#10 吹付工(46.8kg/m2)
6. 樹脂注入工(超低粘度エポキシ樹脂)
7. 低圧注入プラグ撤去, 表面仕上げ工(0.75kg/m2)

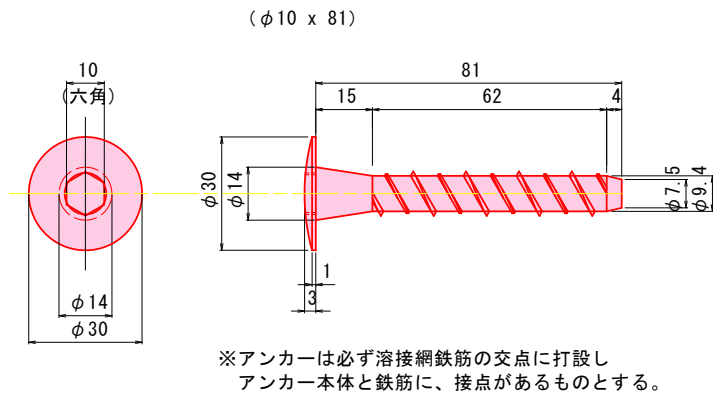
アンカー配列図

S=1:20



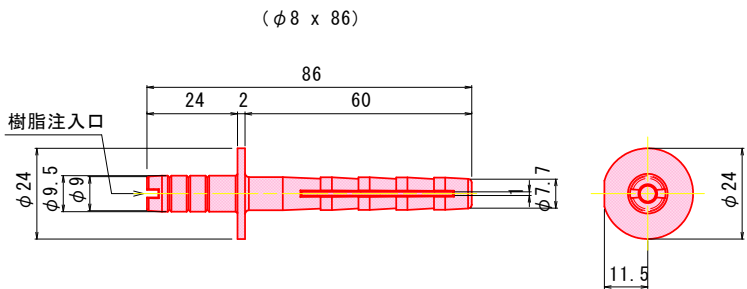
テーパ付きT型アンカー(ネジ式)

S=1:1



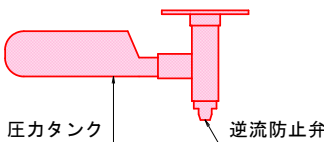
注入用ピン

S=1:1



低圧注入用プラグ

S=1:2



注記)

1. 溶接網鉄筋の重ね継手長は30d以上とする。
2. テーパ付きT型アンカー(ネジ式)(FMS-10)の打設は、内側(センター)付近から外方向へ溶接網鉄筋に緊張を与えながら順次打設する。
3. テーパ付きT型アンカー(ネジ式)(FMS-10)の本数は、溶接網鉄筋の重ね継手により変更あるものとする。
また、本数の最終決定は、床版幅等の再調査を行った上、決定すること。



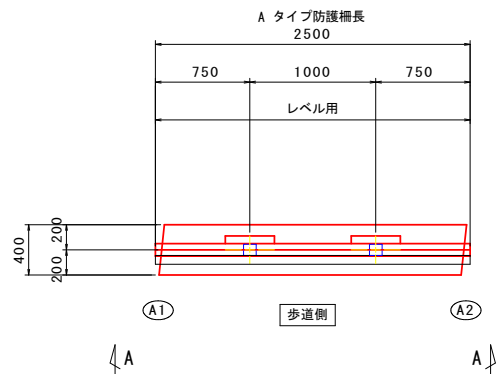
※この図面は縮小しています：A1→A3
設計年月：2026年（令和8年）10月

図面番号	9 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	補修補強図	番 号	3 / 3
路 線 名	箕沖 1 号線 4 号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

箕沖1号線4号橋 防護柵詳細図（その1）

平面図

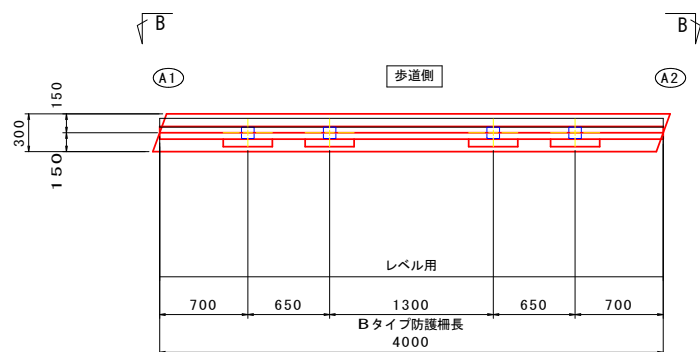
S=1:30



- 注記
- 記入寸法はアンカーセンター押さえとし、実長で示す。
 - 図中 □ 印は支柱取付位置を示し、■ 印は継手部を示す。
□ 印は横梁トップレール通し部を、■ 印は継手部を示す。
 - 記入寸法については既設柵との追間及び干渉の有無を確認の上、決定とする。

Aタイプ防護柵総延長 2.50m
全てレベル用

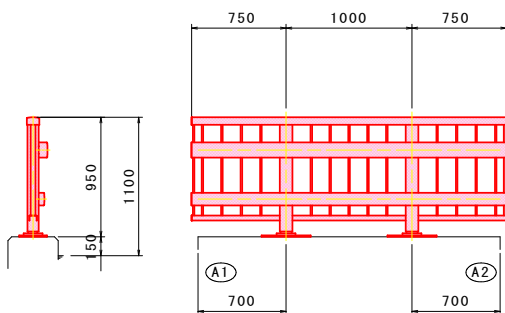
Bタイプ防護柵総延長 4.00m
全てレベル用



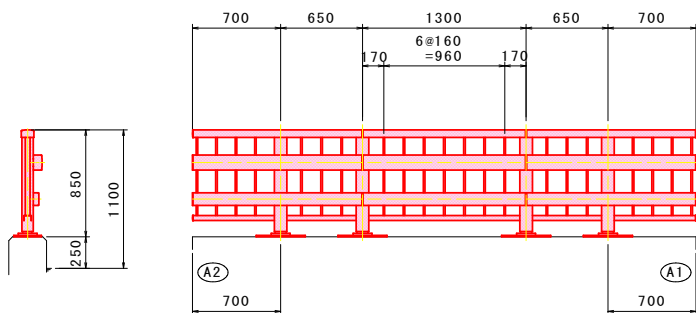
姿図

S=1:30

矢視 A-A

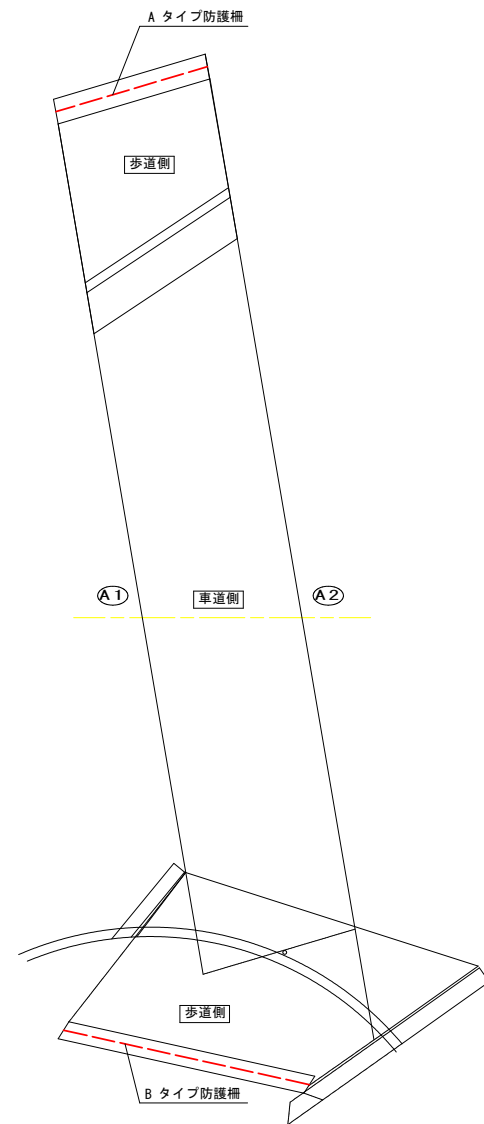


矢視 B-B



配置図

S=1:60



* 防護柵延長は、現状の計測であり、施工の際は現地状況に合わせたものとする。
その際は、発注者と協議を行う必要がある。

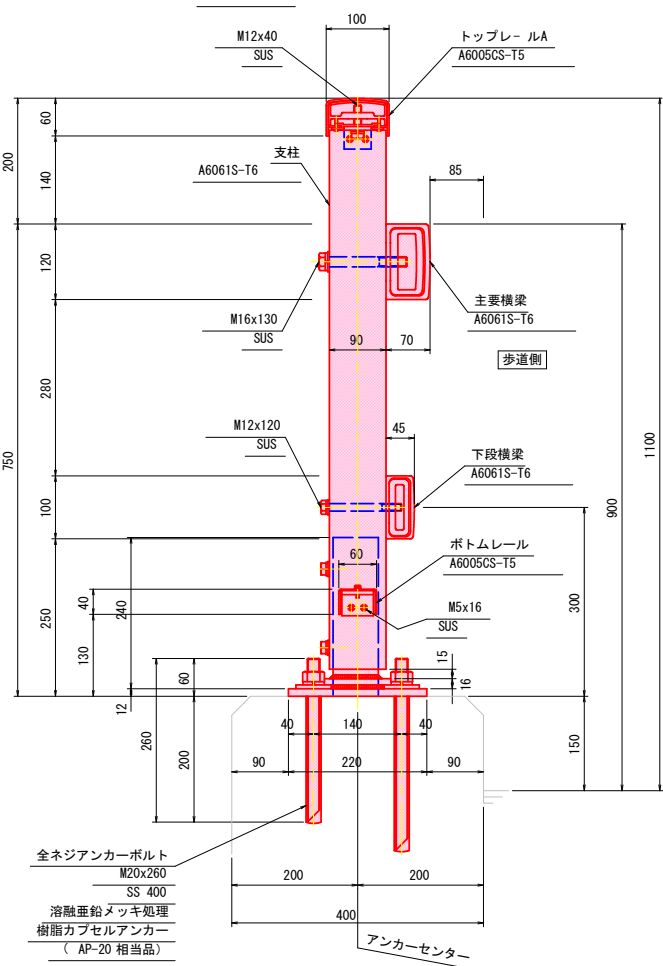
令和8年度
国
補

※この図面は縮小しています：A1→A3
設計年月：2026年（令和8年）10月

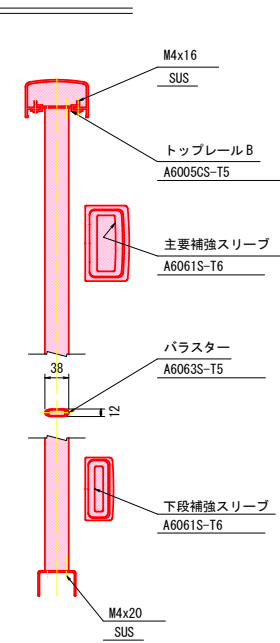
図面番号	10 / 12	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁修繕工事			
種 別	防護柵詳細図		番 号	1 / 3
路 線 名	箕沖1号線4号橋			
工事箇所	福山市 箕沖町 地内			
福 山 市				

箕沖1号線4号橋 防護柵詳細図 (その2)

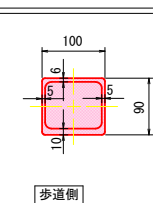
高欄兼用 車両防護柵取付詳細図 S=1/6
種別 C 種 [Aタイプ H=950]



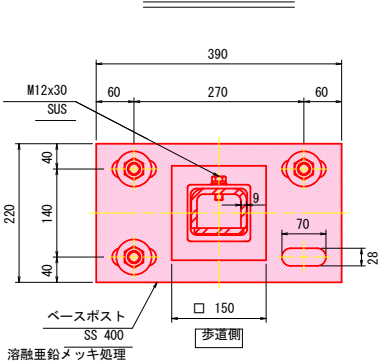
断面 A-A



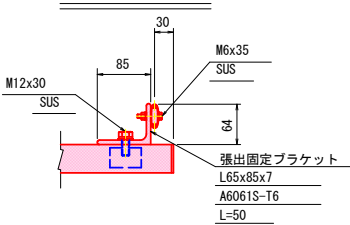
支柱断面図



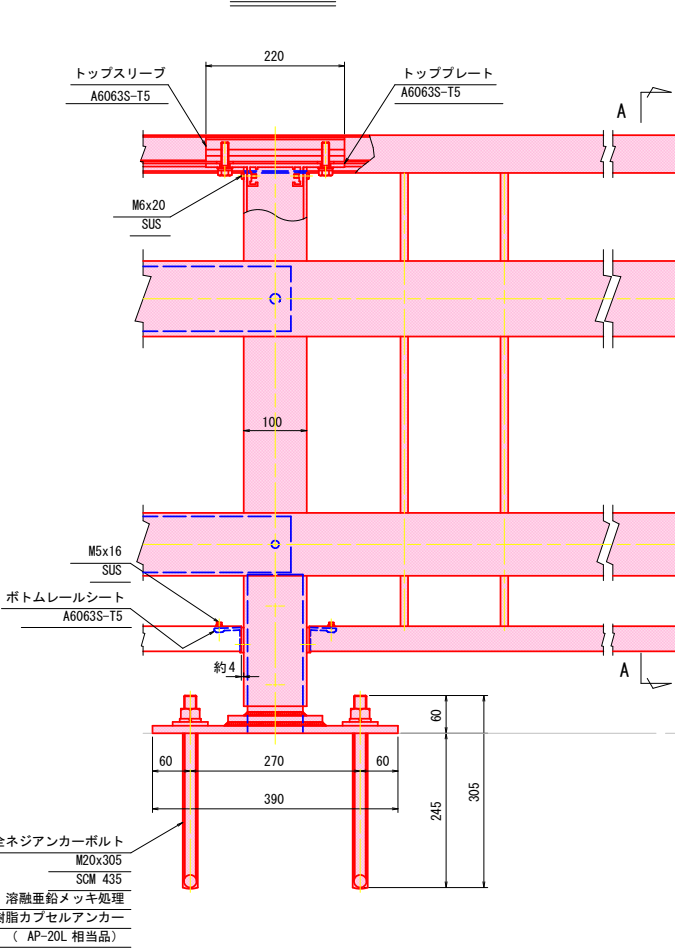
断面 B-B



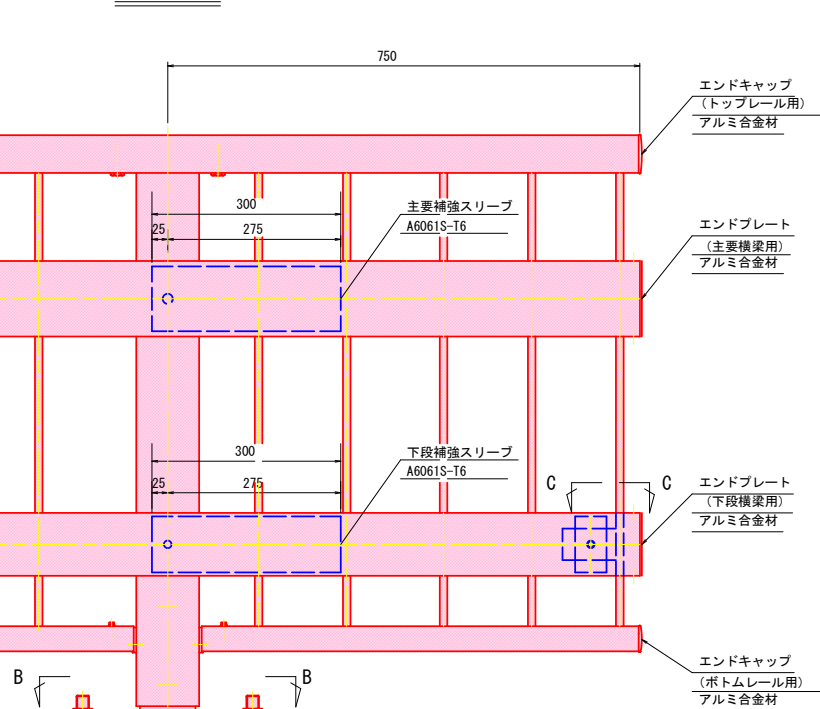
断面 C-C



端部



端部

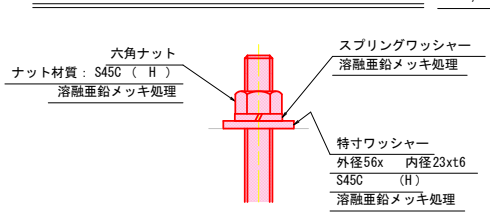


材料表

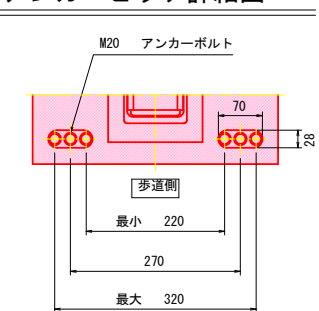
[Aタイプ H=950] (2.50m当り)

部番	名称	寸度	数量	単重	1本当	総重量	材質	備考
1	主要横梁	2494.0	1	6.671	16.64	16.6	A6061S-T6	
2	下段横梁	2494.0	1	3.558	8.87	8.9	A6061S-T6	
3	トップレールA	2490.0	1	1.979	4.93	4.9	A6005CS-T5	
4	トップレールB	692.5	2	0.891	0.62	1.2	A6005CS-T5	
5	トップレールB	995.0	1	0.891	0.89	0.9	A6005CS-T5	
6	支柱	856.0	2	6.492	5.56	11.1	A6061S-T6	
7	主要補強スリーブ	300.0	2	7.589	2.28	4.6	A6061S-T6	
8	下段補強スリーブ	300.0	2	4.902	1.47	2.9	A6061S-T6	
9	トップレスリーブ	220.0	2	3.084	0.68	1.4	A6063S-T5	
10	トップレート	43.0	2	4.706	0.20	0.4	A6063S-T5	
11	バラスト	735.0	15	0.362	0.27	4.1	A6063S-T5	
12	ボトムレール	691.0	2	0.824	0.53	1.1	A6005CS-T5	
13	ボトムレール	892.0	1	0.824	0.74	0.7	A6005CS-T5	
14	ボトムシート	50.0	4	1.171	0.06	0.2	A6063S-T5	
15	張出固定ブラケット	50.0	2	2.732	0.14	0.3	A6061S-T6	
16	主要横梁エンドプレート		2			-	アルミ合金材	
17	下段横梁エンドプレート		2			-	アルミ合金材	
18	トップレールエンドキャップ		2			-	アルミ合金材	
19	ボトムレールエンドキャップ		2			-	アルミ合金材	
20	六角ボルト	M6x35	2		0.02	-	SUS	N1, W2, SW1
21	六角ボルト	M12x40	4		0.06	0.2	SUS	W1, SW1
22	六角ボルト	M12x120	2		0.13	0.3	SUS	W1, SW1
23	六角ボルト	M16x130	2		0.26	0.5	SUS	W1, SW1
24	十字穴付き六角ボルト	M5x16	4		0.004	-	SUS	W1, SW1
25	なべタッピンネジ	M6x20	8		0.01	0.1	SUS	
26	トラスタッピンネジ	M5x16	8		0.003	-	SUS	
27	トラスタッピンネジ	M4x16	18		0.002	-	SUS	
28	なべタッピンネジ (2種)	M4x20	60		0.002	0.1	SUS	
29	ベースポスト		2		13.22	26.4	SS400	
30	全ネジアンカーボルト	M20x305	4		0.82	3.3	SCM435	N1, φ56W1, SW1
31	全ネジアンカーボルト	M20x260	4		0.72	2.9	SS400	N1, φ56W1, SW1
32	樹脂カプセルアンカー	AP-20L 相当品	4		-	-		
33	樹脂カプセルアンカー	AP-20 相当品	4		-	-		
総重量							93.4 Kg	
M 当り							37.3 Kg/M	

アンカーナット締め付け部 S=1/3



アンカーピッチ詳細図



- 注記
- 本防護柵の設計、製作仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」(平成30年6月)、「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」(平成27年3月)による。
 - 本防護柵の表面処理は、アルマイト(シルバー色)仕上げとする。
 - 強度区分の表記なきボルト類は A2-50 以上とする。ただし、ビス類は A2 とする。

コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

※この図面は縮小しています: A1→A3
設計年月: 2026年(令和8年)10月

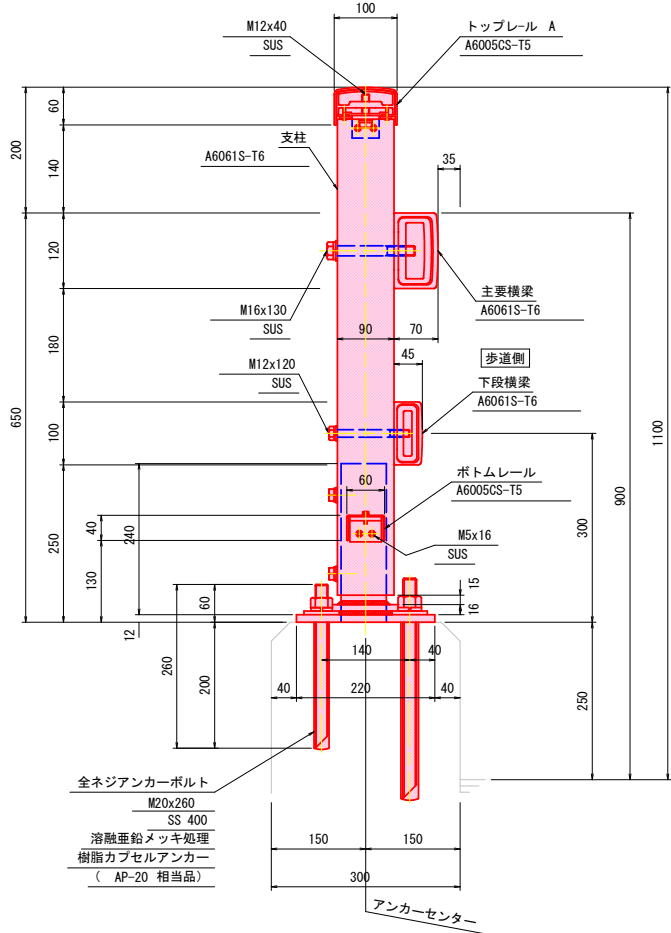
図面番号	11 / 12	縮 尺	図 示	
工 種	橋梁修繕工事			
種 別	防護柵詳細図		番 号	2 / 3
路 線 名	箕沖1号線4号橋			
工事箇所	福山市 箕沖町 地内			
福 山 市				

令和8年度
国補

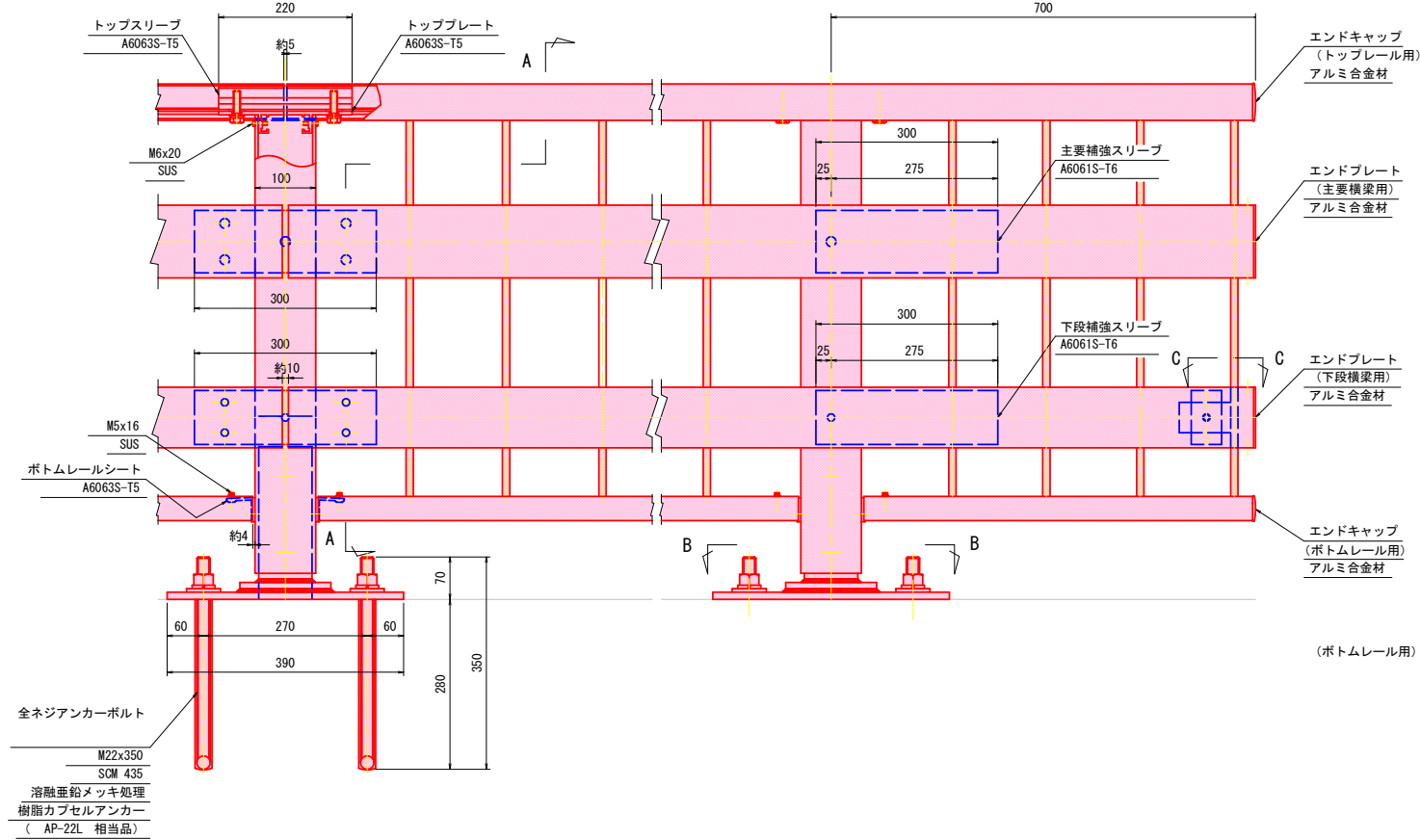
箕沖1号線4号橋 防護柵詳細図 (その3)

高欄兼用 車両防護柵取付詳細図 S=1/

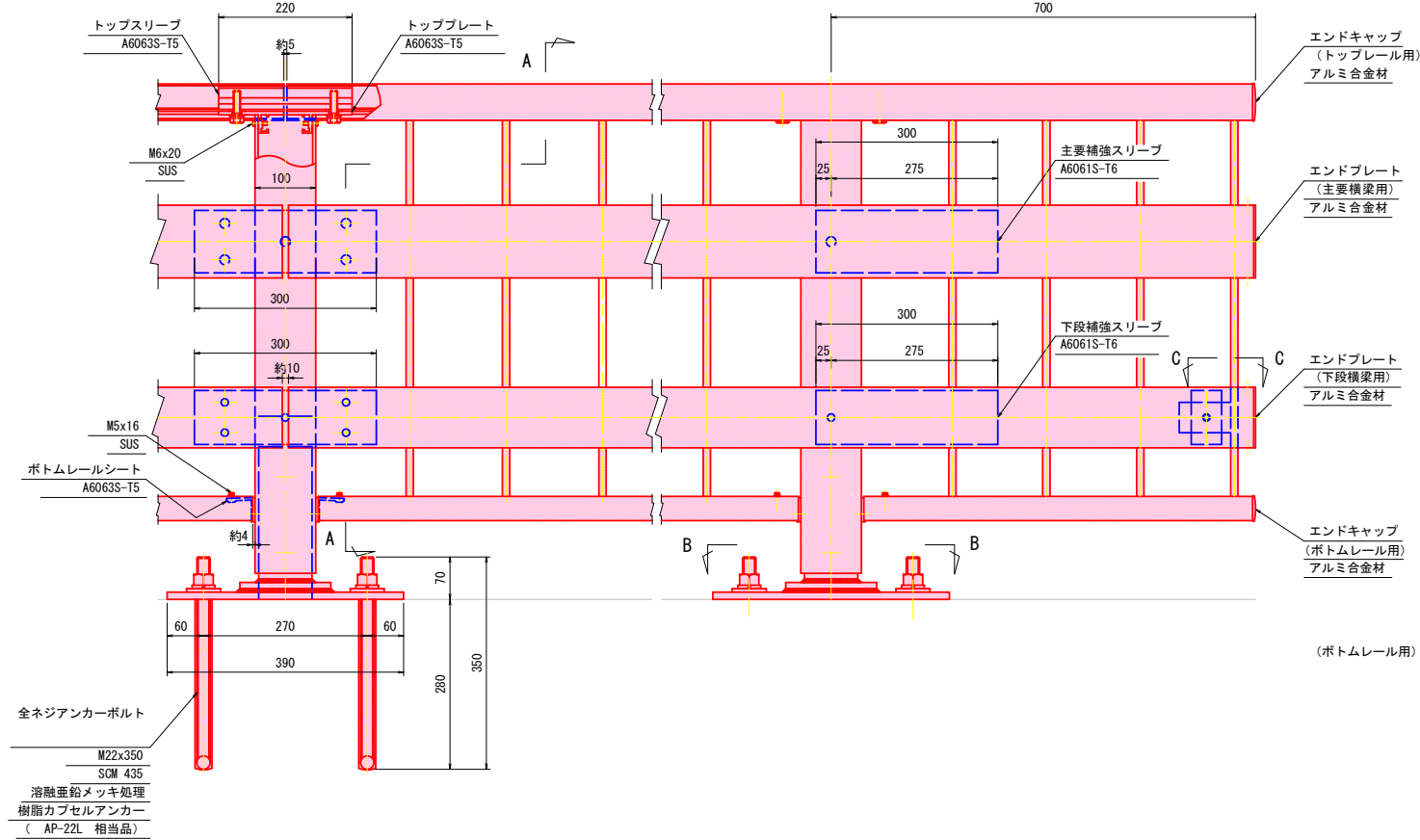
種別 C 種 [Bタイプ H=850]



繼手部



端 部



材料表

〔 B タイプ H=850 〕

(4.00m 当り)

部番	名称	寸度	数量	単重	1 本当	総重量	材質	備考
1	主要横梁	1342.0	2	6.671	8.95	17.9	A6061S-T6	
	主要横梁	1290.0	1	6.671	8.61	8.6	A6061S-T6	
2	下段横梁	1342.0	2	3.558	4.77	9.5	A6061S-T6	
	下段横梁	1290.0	1	3.558	4.59	4.6	A6061S-T6	
3	トップレール A	1342.5	2	1.979	2.66	5.3	A6005CS-T5	
	トップレール A	1295.0	1	1.979	2.56	2.6	A6005CS-T5	
4	トップレール B	692.5	2	0.891	0.62	1.2	A6005CS-T5	
	トップレール B	645.0	2	0.891	0.57	1.1	A6005CS-T5	
	トップレール B	1295.0	1	0.891	1.15	1.2	A6005CS-T5	
5	支柱	756.0	4	6.492	4.91	19.6	A6061S-T6	
6	主要スリーブ	300.0	4	7.589	2.28	9.1	A6061S-T6	端部補強含む
7	下段スリーブ	300.0	4	4.902	1.47	5.9	A6061S-T6	端部補強含む
8	トップスリーブ	220.0	4	3.084	0.68	2.7	A6063S-T5	
9	トッププレート	43.0	4	4.706	0.20	0.8	A6063S-T5	
10	バラスト	635.0	21	0.362	0.23	4.8	A6063S-T5	
11	ボトムレール	641.0	2	0.824	0.53	1.1	A6005CS-T5	
	ボトムレール	542.0	2	0.824	0.45	0.9	A6005CS-T5	
	ボトムレール	1192.0	1	0.824	0.98	1.0	A6005CS-T5	
12	ボトムシート	50.0	8	1.171	0.06	0.5	A6063S-T5	
13	張出固定ブラケット	50.0	2	2.732	0.14	0.3	A6061S-T6	
14	主要横梁エンドプレート		2			-	アルミ合金材	
15	下段横梁エンドプレート		2			-	アルミ合金材	
16	トップレールエンドキャップ		2			-	アルミ合金材	
17	ボトムレールエンドキャップ		2			-	アルミ合金材	
18	六角ボルト	M6x35	2	0.02		-	SUS	N1, W2, SW1
19	六角ボルト	M12x40	8	0.06		0.5	SUS	W1, SW1
20	六角ボルト	M12x120	4	0.13		0.5	SUS	W1, SW1
21	六角ボルト	M12x30	18	0.05		0.9	SUS	W1, SW1
	六角ボルト	M16x130	4	0.26		1.0	SUS	W1, SW1
23	六角ボルト	M16x35	8	0.11		0.9	SUS	W1, SW1
24	十字穴付き六角ボルト	M5x16	8	0.004		-	SUS	W1, SW1
25	なべタッピンネジ	M6x20	16	0.01		0.2	SUS	
26	トラスタッピンネジ	M5x16	16	0.003		-	SUS	
27	トラスタッピンネジ	M4x16	30	0.002		0.1	SUS	
28	なべタッピンネジ (2 種)	M4x20	84	0.002		0.2	SUS	
29	ベースポスト		4	13.22		52.9	SS400	
30	全ネジアンカーボルト	M22x350	8	0.95		7.6	SCM435	N1, φ56W1, SW1
31	全ネジアンカーボルト	M20x260	8	0.72		5.8	SS400	N1, φ56W1, SW1
32	樹脂カプセルアンカー	AP-22L 相当品	8			-	-	
33	樹脂カプセルアンカー	AP-20 相当品	8			-	-	
						総重量	169.3 Kg	
						M 当り	42.3 Kg/M	

注記

1. 本防護罩の設計、製作仕様は、(社)日本アルミニウム協会 土木製品開発委員会作成
「アルミニウム合金製橋梁用防護罩設計要領」(平成30年6月)による。
「アルミニウム合金製橋梁用防護罩設計、施工要領」(平成27年3月)による。
2. 本防護罩の表面処理は、アルマイト(シルバー色)仕上げとする。
3. 強度区分の表記はネボルト類は A2-50 以上とする。ただし、ビス類は A2 とする。

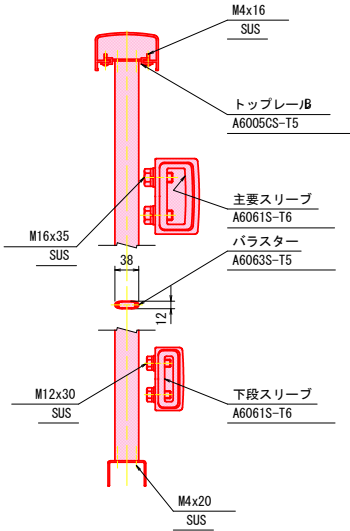
コンクリート強度 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$ 以上

※この図面は縮小しています：A1→A3
設計年月：2026年（令和8年）10月

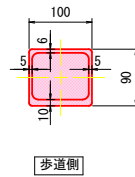
図面番号	12 / 12	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	防護柵詳細図	番 号	3 / 3
路 線 名	箕沖 1 号線 4 号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

令和8年
国
補

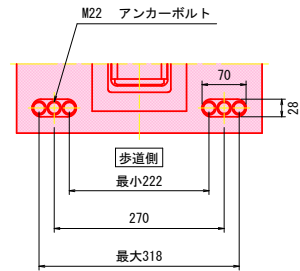
断面 A-A



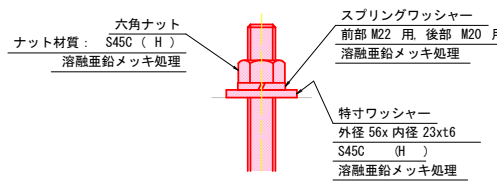
支柱断面图



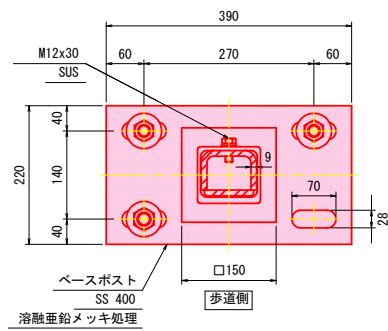
アンカーピッチ詳細図



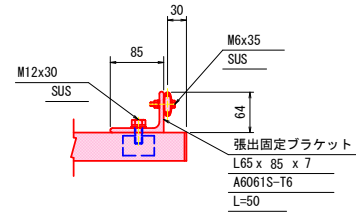
アンカーナット締め付け部

 $S=1/2$ 

断面 B-B



断面 C-C



参 考 図 書

施工単価表

頁0 -0011

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長36.30m

V1020037

單第0 -0001 表

1 構造物 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長36.3m

S1020037

単第0 -0002 表

1

構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.105	人			
特殊作業員	3.485	人			
普通作業員	2.577	人			
本注入材 超微粒子セメント系注入材 アーマ#600相当品	10.280	kg			
シーل材 ポリマーセメントモルタル アーマ#120P相当品	8.654	kg			
低圧注入器 リハビリシリンダー相当品 5回転用を見込む	156.000	個			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=36.3 C=10.28 E=6.3168 G=156	1構造物当り補修延べ延長(m/構造物) 注入材の必要数量(kg/構造物) シーل材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)		B=2 D=3 F=4	【F】 注入材(kg) 【F】 シール材(kg) 【F】 低圧注入器具(個)	

施工単価表

頁0 -0013

断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

V1020041

修復延べ体積1.302m³

單第0 -0003 表

1 構造物 当り

[illegible]

施工単価表

断面修復工(左官工法)
(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)

S1020041
修復延べ体積1.302m3

単第0 -0004 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	36.456	人			
特殊作業員	69.006	人			
普通作業員	36.456	人			
ポリマーセメントモルタル 左官工法用（コテ塗り）	1.536	m3			
諸雑費	8	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1.302 1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=1.302 断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=5 【F】 断面修復材(m3)		

施工単価表

頁0 -0015

コンクリート殻積込・運搬(断面修復工)

S1020051

單第0 -0005 表

[無]DID区間

運搬距離_1.0km以下

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

機-22_ダンプトラック運転
オンロード・ディーゼル_通称4t積級

S9050

単第0 -0006 表

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	0.89	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	19.20	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 通称4t積級	1.02	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.02	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=2 C=19.2 E=1 G=0 オンロード・ディーゼル_通称4t積級 軽油消費量 (L/日) 路面状況:良好 労務単価の夜間等割増率			B=0.89 D=1.02 F=1 運転労務数量 (人/日) 機械損料数量 (供用日/日)		

施工単価表

表面含浸工
亜硝酸リチウム併用型表面含浸材

V000000100

単第0 -0007 表

時間的制約無 高所作業車無

100

m2

当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	6.0	人			
普通作業員	2.0	人			
亜硝酸リチウム系表面含浸材 プロコン40相当品 2回塗り 塗布量0.3kg/m2 ロス率10%	33.0	kg			
シラン・シロキサン系表面含浸材 プロコンガードS相当品 塗布量0.18kg/m2 ロス率10%	19.8	kg			
諸雑費	5	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

下面増厚工法
D10@100×D6@100, D10@60×D6@100, t=26mm

V000000300

単第0 -0008 表

1 式 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
樹脂導入路設置工 間隔300mm	84.0	m			単第0-0009 表
下地処理工 サンダーケレン	23.8	m2			単第0-0010 表
網鉄筋取付工 D10@100×D6@100	15.3	m2			単第0-0011 表
網鉄筋取付工 D10@100×D6@100	8.5	m2			単第0-0012 表
テーパー付T型アンカー設置工 φ10×L81	343	本			単第0-0013 表
樹脂注入器具設置工 φ8×L86	150	本			単第0-0014 表
ホゼン材FMプライマー塗布工 亜硝酸リチウム水溶液含有	23.8	m2			単第0-0015 表
ホゼン材#10中塗用吹付工 t=26mm	23.8	m2			単第0-0016 表
超低粘度エポキシ樹脂注入工 エバーボンドEP-400	23.8	m2			単第0-0017 表
ホゼン材#1上塗用塗布工	23.8	m2			単第0-0018 表
*** 単位当たり ***	1	式			

施工単価表

頁0 -0019

樹脂導入路設置工
間隔300mm

V000000400

單第0 -0009 表

100

m

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

下地処理工
サンダーケレン

V000000500

單第0 -0010 表

100

m2

当り

[illegible]

施工単価表

網鉄筋取付工
D10@100×D6@100

V000000600

単第0 -0011 表

100
m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
網鉄筋 D10@100mm×D6@100mm 直橋 ロス率15%	115.0	m2			
土木一般世話役	2.0	人			
鉄筋工	8.4	人			
特殊作業員	18.6	人			
普通作業員	4.6	人			
諸雑費	1	%			#08
小規模補正	30	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

網鉄筋取付工
D10@100×D6@100

V000000700

単第0 -0012 表

100
m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
網鉄筋 D10@60mm×D6@100mm 直橋 ロス率15%	115.0	m2			
土木一般世話役	2.0	人			
鉄筋工	10.8	人			
特殊作業員	24.0	人			
普通作業員	6.0	人			
諸雑費	1	%			#08
小規模補正	30	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

テーパー付T型アンカー設置工
φ10×L81

V000000800

単第0 -0013 表

頁0 -0023

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
アンカー FMS-10 φ10×L81 ロス率5%	105	本			
土木一般世話役	0.13	人			
特殊作業員	0.50	人			
普通作業員	0.25	人			
諸雑費	14	%			#08
小規模補正	30	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

樹脂注入器具設置工
φ8×L86

V000000900

単第0 -0014 表

100

本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
注入用ピン FM-8P φ8×L86 ロス率5%	101	本			
低圧注入器具 ロス率5%	101	個			
土木一般世話役	0.13	人			
特殊作業員	0.75	人			
普通作業員	0.25	人			
諸雑費	14	%			#08
小規模補正	30	%			#09
*** 合計 ***	100	本			
*** 単位当たり ***	1	本			

施工単価表

ホゼン材FMプライマー塗布工
亜硝酸リチウム水溶液含有

V000001000

単第0 -0015 表

100 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
FMプライマー 亜硝酸リチウム水溶液含有 0.3kg/m2 ロス率5%	31.5	kg			
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	1.0	人			
普通作業員	1.0	人			
諸雑費	5	%			#08
小規模補正	30	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

ホゼン材#10中塗用吹付工
t=26mm

V000001100

単第0 -0016 表

100
m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ホゼン材#10 中塗り用 26mm×1.8t/m3 ロス率25%	5,850.0	kg			
土木一般世話役	4.0	人			
特殊作業員	18.0	人			
普通作業員	6.0	人			
諸雑費	15	%			#08
小規模補正	30	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

超低粘度エポキシ樹脂注入工
エバーボンドEP-400

V000001200

単第0 -0017 表

100
m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
シーカデュア EP-400 防錆材入り	132.0	kg			
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	12.0	人			
普通作業員	3.0	人			
諸雑費	20	%			#08
小規模補正	30	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

ホゼン材#1上塗用塗布工

V000001300

単第0 -0018 表

頁0 -0028

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
ホゼン材#1 上塗り用 0.5mm×1.5t/m3 ロス率15%	86.25	kg			
土木一般世話役	1.0	人			
特殊作業員	7.0	人			
普通作業員	4.0	人			
諸雑費	18	%			#08
小規模補正	30	%			#09
*** 合計 ***	100	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

施工単価表

頁0 -0029

水切り工 EPDM系ゴム

V000000200

單第0 -0019 表

m

当り

$$\underline{25 \times 20 \times 1,000}$$
[illegible]

施工単価表

頁0 -0030

橋梁_排水管設置

SPK26040408

単第0 -0020 表

足場無し
機械構成比: 16.87% 労務構成比: 80.76% 材料構成比: 2.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1 m 当り 6,451.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>高所作業車(トラック架装リフト) ブーム型(伸縮ブーム・プラットフォーム型) 作業床高10～12m以下,幅広デッキ旋回タイプ	16.87%		高所作業車 トラック架装・伸縮ブーム・PH型 最大地上高12m・最大積載荷重1,000kg		KTPC00081 KTPT00081
特殊作業員	25.52%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	21.27%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	17.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	16.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.37%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 足場無し					

施工単価表

頁0 -0031

橋梁_排水管設置

SPK26040408

單第0 -0020 表

足場無し

1

m 当り

機械構成比: 16.87%

勞務構成比: 80.76%

材料構成比: 2.37%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

6,451.90000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0032

橋梁用高欄

SPK26040295

単第0 -0021 表

機械構成比: 5.04% 労務構成比: 93.15% 材料構成比: 1.81% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 5,182.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.9t	5.04%		トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級 吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
普通作業員	62.08%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	18.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	12.00%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.81%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 一体式					

施工単価表

高欄撤去

SPK26040122

単第0 -0022 表

機械構成比: 5.09% 労務構成比: 93.34% 材料構成比: 1.57% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,649.60000 1 m 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.9t	5.09%		トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級 吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
溶接工	34.29%		溶接工		RTPC00019 RTPT00019
特殊作業員	27.67%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	14.98%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	14.10%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.57%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0034

現場発生品及び支給品運搬
クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊
機械構成比: 16.52% 労務構成比: 79.59% 材料構成比: 3.89% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040410
片道運搬距離2.0km以下

単第0 -0023 表

1
標準単価: 1,062.70000

t 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級吊能力2.9t	16.52%		トラック クレーン装置付 通称4～4.5t積級 吊能力2.9t		MTPC00021 MTPT00021
運転手(特殊)	40.20%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	39.39%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	3.89%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=2	クレーン装置付 通称4～4.5t積2.9t吊 片道運搬距離2.0km以下		B=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0035

舗装版切断
アスファルト舗装版
機械構成比: 14.40% 労務構成比: 58.90% 材料構成比: 26.70% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040304
アスファルト舗装版厚15cm以下

単第0 -0024 表
標準単価: 1 m 当り 731.83000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm	9.80%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式・E駆動 通称(切削深)20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.20%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.89%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	9.00%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.47%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.88%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0036

鋪裝版切断

SPK26040304

單第0 -0024 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 14.40%

勞務構成比：

58.90%

材料構成比: 26.70%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

731.83000

[illegible]

施工単価表

頁0 -0037

舗装版破碎
アスファルト舗装版
機械構成比: 12.28% 労務構成比: 81.66% 材料構成比: 6.06% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 227.41000

SPK26040303 障害等無し 舗装版厚15cm以下

単第0 -0025 表 1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.45m3(平積0.35m3) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	12.28%		バックホウ(クローラ型) 後方超小旋回型 バケット容量0.45m3		KTPC00066 KTPT00066
土木一般世話役	29.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	27.76%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	24.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	6.06%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 F=1 アスファルト舗装版 騒音振動対策不要 積込作業有り			B=1 D=1 G=1 障害等無し 舗装版厚15cm以下 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0038

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 42.27%
SPK26040155
DID区間無し 運搬距離0.5km以下
労務構成比: 41.18%
材料構成比: 16.55%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0026 表
標準単価: 1
m3 当り
881.89000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.27%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.18%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	16.55%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 C=1 E=1 舗装版破碎 DID区間無し -(全ての費用)			B=2 D=2 機械積込(騒対不要,15cm超)又(騒対要) 運搬距離0.5km以下		

施工単価表

頁0 -0039

不陸整正
補足材料無し
機械構成比:

SPK26040231

単第0 -0027 表

1
標準単価: m2 当り
182.07000

20.65% 労務構成比: 72.60% 材料構成比: 6.75% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m	16.56%		モータグレーダ 土工用・排2014 ブレード幅3.1m		MTPC00176 MTPT00176
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	2.07%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	2.02%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
運転手(特殊)	35.73%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	14.71%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	11.49%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	6.75%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0040

不陸整正
補足材料無し

SPK26040231

單第0 -0027 表

1

m2 当り

機械構成比:	20.65%	勞務構成比:	72.60%	材料構成比:	6.75%	市場単価構成比:	0.00%	標準単価:	182.07000
--------	--------	--------	--------	--------	-------	----------	-------	-------	-----------

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

表層(車道・路肩部)

SPK26040241

単第0 -0028 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.32%

労務構成比:

10.25%

材料構成比: 88.43%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,891.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.84%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.13%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.69%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.07%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.73%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0042

表層(車道・路肩部)
平均幅員3.0m超
機械構成比: 1.32% 労務構成比: 10.25% 材料構成比: 88.43% 市場単価構成比: 0.00%

SPK26040241
1層当り平均仕上厚50mm

単第0 -0028 表

1
標準単価:

m2 当り
1,891.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	80.48%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.39%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0043

表層(車道・路肩部)

SPK26040241

単第0 -0029 表

平均幅員3.0m超

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.35%

労務構成比:

10.60%

材料構成比: 88.05%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,740.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.91%		アスファルトフィニッシャ ホイール型 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量13～14t 排出ガス対策型(2014年規制)普通・超低騒音	0.14%		タイヤローラ 運転質量13～14t		KTPC00074 KTPT00074
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.14%		ロードローラ マカダム 運転質量10t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.01%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.23%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.80%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0044

表層(車道・路肩部)

平均幅員3.0m超

機械構成比: 1.35%

SPK26040241

1層当り平均仕上厚50mm

労務構成比: 10.60%

材料構成比: 88.05%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0029 表

1

標準単価:

m2

当り

1,740.40000

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)		87.47%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm			TTPCD0038 TTPT00284
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油		0.51%		軽油パトロール給油			TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)				その他(材料)			EZ009
積算単価				積算単価			E9999
A=4 C=6 G=1 I=1	平均幅員3.0m超 再生密粒度アスファルト混合物(20) -(全ての費用)			B=50 E=5 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) 瀝青材料無し -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)							

施工単価表

頁0 -0045

表層(歩道部)

SPK26040244

単第0 -0030 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当たり平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.45% 労務構成比:

52.37%

材料構成比: 47.18%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,357.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t	0.30%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5～0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 通称40～60kg級	0.08%		振動コンパクト 前進型 通称40～60kg級		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.34%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.19%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.49%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	41.06%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	5.93%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

頁0 -0046

表層(歩道部)

SPK26040244

単第0 -0030 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2

当り

機械構成比: 0.45%

労務構成比: 52.37%

材料構成比: 47.18%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,357.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.11%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.05%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 C=7 G=1 I=1	平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 再生密粒度アスファルト混合物(13) - -(全ての費用)		B=30 E=2 H=1	1層当り平均仕上り厚(mm) PK-3 -	
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0047

橋面防水工(新設) 塗膜系防水
アスファルト系 [規] 200m²未満

SS000253

單第0 -0031 表

1	m2	当り
---	----	----

[illegible]

施工単価表

頁0 -0048

仮設工

V000001400

單第0 -0032 表

1 式 当り

[illegible]

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)

SHD10003

単第0 -0033 表

頁0 -0049

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.294	人			1*0.294
特殊作業員	0.294	人			1*0.294
普通作業員	0.294	人			1*0.294
耐候性大型土のう(2.0t用) 丸型,径110cm×長110cm 短期仮設対応(1年),令和5年改定基準適合品	10.000	枚			
機-28_バックホウ(クローラ型)運転 C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型	0.294	日			単第0-0034 表
諸雑費	1	%			#09
*** 合計 ***	10	袋			
*** 単位当たり ***	1	袋			
A=4 耐候性(短期)大型土のう(R5改定基準適合品)			B=1 土砂の計上なし		

施工単価表

頁0 -0050

機-28_バックホウ(クローラ型)運転
C付2.9t吊_B容量0.45m3_後方超小型旋回型

S9035

單第0 -0034 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0051

**大型土のう撤去
設置作業半径_6m以下**

S1050057

單第0 -0035 表

設置面高さ $-3\text{m} \leq H \leq 2\text{m}$

10

袋 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0052

機-28_バックホウ(クローラ型)運転
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3

S9035

單第0 -0036 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0053

土砂等運搬

SPK26040002

単第0 -0037 表

標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

DID区間無し 距離0.3km以下

1

m3 当り

機械構成比: 42.89%

労務構成比:

41.78%

材料構成比: 15.33%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

395.09000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 通称10t積級	42.89%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 通称10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.78%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	15.33%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) E=1 距離0.3km以下			B=1 バックホウ B容量0.8m3 D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0054

ポンプ設置・撤去

SHD10037

單第0 -0038 表

1

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0055

機-28_バックホウ(クローラ型)運転
クレーン付2.9t吊_B容量0.8m3

S9035

單第0 -0039 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0056

ポンプ運転

S1050053

單第0 -0040 表

排水量_0以上120未満(m3/h)

全揚程_15m 作業時排水

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0057

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転
口径200mm,揚程15m

S9000045

單第0 -0041 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0058

機-16_発動発電機運転
ディーゼル60kVA

S9469
排出ガス対策型3次基準

單第0 -0042 表

1 目 当り

[illegible]

数 量 総 括 表

工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	設計数量	適 用
橋梁保全工事							
橋梁補修工							
	ひび割れ補修工						
		低圧注入工法		構造物	1	1	
		〔	1構造物当り補修延べ延長	m	36.30	〕	
			先行注入材(亜硝酸リチウム40%水溶液)	kg	11.422		
			本注入材(超微粒子セメント系注入材)	kg	10.280		
			シール材	kg	8.654		
			低圧注入器	本	156		
	断面修復工						
		左官工法		構造物	1	1	
		〔	1構造物当り体積	m3	1.302	〕	
			断面修復材(ポリマーセメントモルタル)	m3	1.536		
			断面修復材(亜硝酸リチウム40%水溶液)	kg	29.997		
	運搬処理工						
		Co殻積込・運搬	[無]DID区間 運搬距離_1.0km以下	m3	1.3	1	
		Co殻処分	再生工場搬入	t	3.1	3	
	表面含浸工						
		下地処理		m2	61.14	61	
		表面含浸工	亜硝酸リチウム併用型表面含浸材 時間的制約無 高所作業車無 1橋当り100m2	m2	61.14	61	
	下面増厚工						
		下面増厚工		式	1	1	
		〔	1式当り面積	m2	23.80	〕	
橋梁付属物工							
	排水施設工						
		水切り工	EPDM系ゴム	m	4.45	4	
		排水管設置	床版下面 後付用(φ76.3鉛直タイプ) 200×200 L=600 ステンレス製 M10×120 (1-SW, 1-W, 2-N含む)	m	0.60	0.6	
	橋梁用防護柵工						
		防護柵設置工		m	6.5	7	
		アルミ合金製高欄兼用車両用 防護柵(C種)	Aタイプ製品高さ950mm Bタイプ製品高さ850mm 定着 鋼製ベース+樹脂カプセルアンカー式	式	1	1	
		高欄撤去	クレーン装置付 通称4〜4.5t積2.9t吊	m	6.5	7	
		現場発生品運搬	クレーン装置付 通称4〜4.5t積2.9t吊 片道運搬距離2.0km以下	t	0.3	0.3	想定重量 0.3t
		スクラップ	鉄屑(ヘビーH3)	t	0.3	0.3	想定重量 0.3t

数量総括表

[illegible]

ひび割れ補修工				1式当り
名称	算 式			数量
低圧注入工法 幅0.2mm以上0.5mm未満	●頂版			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	31	0.20	0.40	2
	32	0.30	0.20	1
	35	0.20	0.40	2
	小計		1.00	5
	●側壁			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	1	0.20	1.00	4
	2	0.30	1.10	5
	3	0.20	3.75	15
	4	0.20	3.55	15
	5	0.30	1.50	6
	6	0.40	1.60	7
	7	0.20	5.25	21
	8	0.30	0.50	2
	13	0.20	0.20	1
	14	0.20	1.00	4
	15	0.20	1.00	4
	16	0.20	1.00	4
	17	0.20	1.00	4
	18	0.20	0.75	3
	19	0.20	1.00	4
	20	0.20	1.30	6
	小計		25.50	105
	●地覆			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	1	0.20	0.25	1
	小計		0.25	1
	●A2橋台			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	3	0.30	0.30	2
	4	0.20	0.20	1
	小計		0.50	3
	合計		27.25	114
	27.25 m			27.25 m
先行注入材	・ 先行注入材(亜硝酸リチウム40%水溶液)			
	低圧注入工法 施工長さ			27.25 m
	ひび割れ幅 平均			0.22 mm
	推定ひび割れ深さ (ひび割れ幅*200)			44 mm
	単位体積重量			1250 kg/m3
	材料ロス率			30 %
	注入材数量			
	27.25 × 0.00022 × 0.044 × 1250 × 1.3 = 0.429 kg			0.429 kg

ひび割れ補修工			1式当り
名称	算 式	数量	
本注入材	- 本注入材(超微粒子セメント系注入材) - 低圧注入工法 施工長さ 27.25 m - ひび割れ幅 平均 0.22 mm - 推定ひび割れ深さ (ひび割れ幅*200) 44 mm - 単位体積重量 975 kg/m³ - 材料ロス率 50 % - 注入材数量 $27.25 \times 0.00022 \times 0.044 \times 975 \times 1.5 = 0.386 \text{ kg}$	0.386	kg
シール材	- シール材 - 低圧注入工法 施工長さ 27.25 m - シール幅 100 mm - シール厚さ 1 mm - シール材単位体積重量 1740 kg/m³ - 材料ロス率 37 % - シール材数量 $27.25 \times 0.1 \times 0.001 \times 1740 \times 1.37 = 6.496 \text{ kg}$	6.496	kg
低圧注入器	低圧注入器 前項より	114	本

ひび割れ補修工				1式当り
名称	算 式			数量
低圧注入工法 幅0.5mm以上1.0mm未満	●頂版			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	34	0.80	0.20	1
	小計		0.20	1
	●地覆			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	2	0.70	0.20	1
	小計		0.20	1
	●A2橋台			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
先行注入材	5	0.50	0.60	3
	8	0.70	0.45	2
	小計		1.05	5
	合計		1.45	7
	・ 先行注入材(亜硝酸リチウム40%水溶液)			
	低圧注入工法 施工長さ		1.45 m	
	ひび割れ幅 平均		0.63 mm	
	推定ひび割れ深さ (ひび割れ幅*200)		126 mm	
	単位体積重量		1250 kg/m3	
	材料ロス率		30 %	
本注入材	注入材数量			
	$1.45 \times 0.00063 \times 0.126 \times 1250 \times 1.3 = 0.187 \text{ kg}$			0.187 kg
	・ 本注入材(超微粒子セメント系注入材)			
	低圧注入工法 施工長さ		1.45 m	
	ひび割れ幅 平均		0.63 mm	
	推定ひび割れ深さ (ひび割れ幅*200)		126 mm	
	単位体積重量		975 kg/m3	
	材料ロス率		50 %	
	注入材数量			
	$1.45 \times 0.00063 \times 0.126 \times 975 \times 1.5 = 0.168 \text{ kg}$			0.168 kg
シール材	・ シール材			
	低圧注入工法 施工長さ		1.45 m	
	シール幅		100 mm	
	シール厚さ		1 mm	
	シール材単位体積重量		1740 kg/m3	
	材料ロス率		37 %	
	シール材数量			
	$1.45 \times 0.1 \times 0.001 \times 1740 \times 1.37 = 0.346 \text{ kg}$			0.346 kg
	・ 低圧注入器			
				7 本

ひび割れ補修工				1式当り
名称	算 式			数量
低圧注入工法 幅1.0mm以上	●頂版			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	33	4.00	0.20	1
	36	1.00	0.20	1
	小計		0.40	2
	●側壁			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	9	4.00	0.85	4
	10	1.00	0.80	4
	11	1.50	0.55	3
	12	4.00	1.00	4
	21	1.00	0.70	3
	小計		3.90	18
	●A2橋台			
	番号	幅(mm)	長さ(m)	注入器(本)
	1	3.00	2.20	9
	2	1.00	0.30	2
	6	2.00	0.30	2
	7	1.50	0.50	2
	小計		3.30	15
	合計		7.60	35
先行注入材				7.60 m
	・先行注入材(亜硝酸リチウム40%水溶液)			
	低圧注入工法 施工長さ			7.60 m
	ひび割れ幅 平均			2.50 mm
	推定ひび割れ深さ (ひび割れ幅*200)			350 mm
	単位体積重量			1250 kg/m3
	材料ロス率			30 %
	注入材数量			
	7.60 × 0.0025 × 0.35 × 1250 × 1.3 = 10.806 kg			10.806 kg
本注入材	・本注入材(超微粒子セメント系注入材)			
	低圧注入工法 施工長さ			7.60 m
	ひび割れ幅 平均			2.50 mm
	推定ひび割れ深さ (ひび割れ幅*200)			350 mm
	単位体積重量			975 kg/m3
	材料ロス率			50 %
	注入材数量			
	7.60 × 0.0025 × 0.35 × 975 × 1.5 = 9.726 kg			9.726 kg

ひび割れ補修工			1式当り
名称	算 式	数量	
シール材	・シール材 低圧注入工法 施工長さ7.60 m シール幅100 mm シール厚さ1 mm シール材単位体積重量1740 kg/m3 材料ロス率37 % シール材数量 7.60 × 0.1 × 0.001 × 1740 × 1.37 = 1.812 kg	1.812 kg	
低圧注入器	・低圧注入器 前項より	35 本	
低圧注入工法 1構造物当り延べ数量	・延長 幅0.2mm以上0.5mm未満27.25 m 幅0.2mm以上0.5mm未満1.45 m 幅1.0mm以上7.60 m 合計36.30 m ・先行注入材(亜硝酸リチウム40%水溶液) 幅0.2mm以上0.5mm未満0.429 kg 幅0.2mm以上0.5mm未満0.187 kg 幅1.0mm以上10.806 kg 合計11.422 kg ・本注入材(超微粒子セメント系注入材) 幅0.2mm以上0.5mm未満0.386 kg 幅0.2mm以上0.5mm未満0.168 kg 幅1.0mm以上9.726 kg 合計10.280 kg ・シール材 幅0.2mm以上0.5mm未満6.496 kg 幅0.2mm以上0.5mm未満0.346 kg 幅1.0mm以上1.812 kg 合計8.654 kg ・低圧注入器 幅0.2mm以上0.5mm未満114 本 幅0.2mm以上0.5mm未満7 本 幅1.0mm以上35 本 合計156 本	36.30 m <	

断面修復工					1式当り	
名称	算 式				数量	
左官工法 (深さ50mm推定)	●頂版（有筋）					
	番号	寸法(m)		面積(m2)		
	1	1.70 × 14.00 =		23.800		
	2	0.20 × 0.35 =		0.070		
	3	0.20 × 0.35 =		0.070		
	4	0.15 × 0.15 =		0.023		
	5	0.20 × 0.50 =		0.100		
	6	0.20 × 0.95 =		0.190		
	7	0.20 × 0.10 =		0.020		
	8	0.20 × 1.10 =		0.220		
	9	0.20 × 0.60 =		0.120		
	10	0.20 × 0.65 =		0.130		
	12	0.20 × 0.70 =		0.140		
	13	0.15 × 0.10 =		0.015		
	14	0.20 × 0.20 =		0.040		
	15	0.20 × 1.25 =		0.250		
	16	0.15 × 0.25 =		0.038		
	17	0.15 × 0.15 =		0.023		
	18	0.10 × 0.10 =		0.010		
	19	0.15 × 0.15 =		0.023		
	20	0.20 × 0.85 =		0.170		
	21			0.450		
	小計			25.902		
		●側壁（有筋）				
		番号	寸法(m)		面積(m2)	
		11	0.15 × 0.30 =		0.045	
		小計			0.045	
	●A2橋台（無筋）					
	番号	寸法(m)		面積(m2)		
	1	0.15 × 0.20 =		0.030		
	小計			0.030		
	●床版（有筋）					
	番号	寸法(m)		面積(m2)		
	1			0.060		
	小計			0.060		
	合計			26.037		
	深さ50mm推定合計	26.037 ×	0.05	=	1.302 m3	
	・ポリマーセメントモルタル					
	標準使用量	1750 kg/m3				
	ロス率	0.18				
	ポリマーセメントモルタル数量					
	1.302	×	1.18	=	1.536 m3	
					1.536 m3	

断面修復工			1式当り
名称	算 式		数量
コンクリート殻運搬・処分	参考：【亜硝酸リチウム設計混入量の算定例(塩害対策の場合)】 塩化物イオン量 3.00kg/m³ の場合、亜硝酸リチウム設計混入量は以下のとおりとなる。 1) 算出に使用する原子量、式量は以下の通り Cl の原子量：35.45、 LiNO₂ の式量：52.94 (Li=6.94、NO₂=46.00) 2) コンクリート中の塩化物イオン (Cl⁻) モル数を k₁ とすると、式 2-1 より、 $k_1 = 3.00 / 35.45 = 0.085$ 3) 必要となる亜硝酸イオン (NO₂⁻) のモル数を k₂、必要量を x₁ とすると、式 2-1 より、 $k_2 = x_1 / 46.00$ ここで、[NO₂]/[Cl]モル比を 1.0 とするため、$k_2 = k_1 = 0.085$ となり、 $0.085 = x_1 / 46.00$ よって $x_1 = 3.91$ 4) これを亜硝酸リチウム (LiNO₂) の必要量 x₂ に換算すると、 $x_2 = 3.91 \times 52.94 / 46.00 = 4.50$ 5) これを亜硝酸リチウム 40%水溶液の必要量 x₃ に換算すると、 $x_3 = 4.50 / 0.4 = 11.25$ よって、ポリマーセメントモルタル 1m³ あたりの亜硝酸リチウム 40%水溶液の設計混入量は 11.25kg/m³ となる。		
	・ 亜硝酸リチウム40%水溶液 塩化物イオン量 6.00 kg/m³ (塩化物イオン含有量試験結果) 塩化物イオン (Cl⁻) 式量 35.45 亜硝酸リチウム (LiNO₂) 分子量 52.94 (Li=6.94、NO₂=46.00) ロス率 0.03 1) コンクリート中の塩化物イオン (Cl⁻) のモル数を k₁ とすると、 $k_1 = 6.00 / 35.45 = 0.169$ 2) 亜硝酸イオン (NO₂⁻) のモル数を k₂、必要数を x₁ とすると、 $k_2 = x_1 / 46.00$ [NO₂]/[Cl]モル比を1.0とするため、$k_2 = k_1 = 0.169$ となり、 $0.169 = x_1 / 46.00$ $x_1 = 7.774$ 3) 亜硝酸リチウム (LiNO₂) の必要量 x₂ に換算すると、 $x_2 = 7.774 \times 52.94 / 46.00 = 8.947$ 4) 亜硝酸リチウム40%水溶液の必要量 x₃ に換算すると、 $x_3 = 8.947 / 0.4 = 22.368 \text{ kg/m}^3$ よって、亜硝酸リチウム40%水溶液の設計混入量は、 $1.302 \times 22.368 \times 1.03 = 29.997 \text{ kg}$		29.997 kg
	・ コンクリート殻 1.302 m³ ・ コンクリート殻処分 $1.302 \times 2.35 = 3.060 \text{ t}$		1.3 m ³ 3.1 t

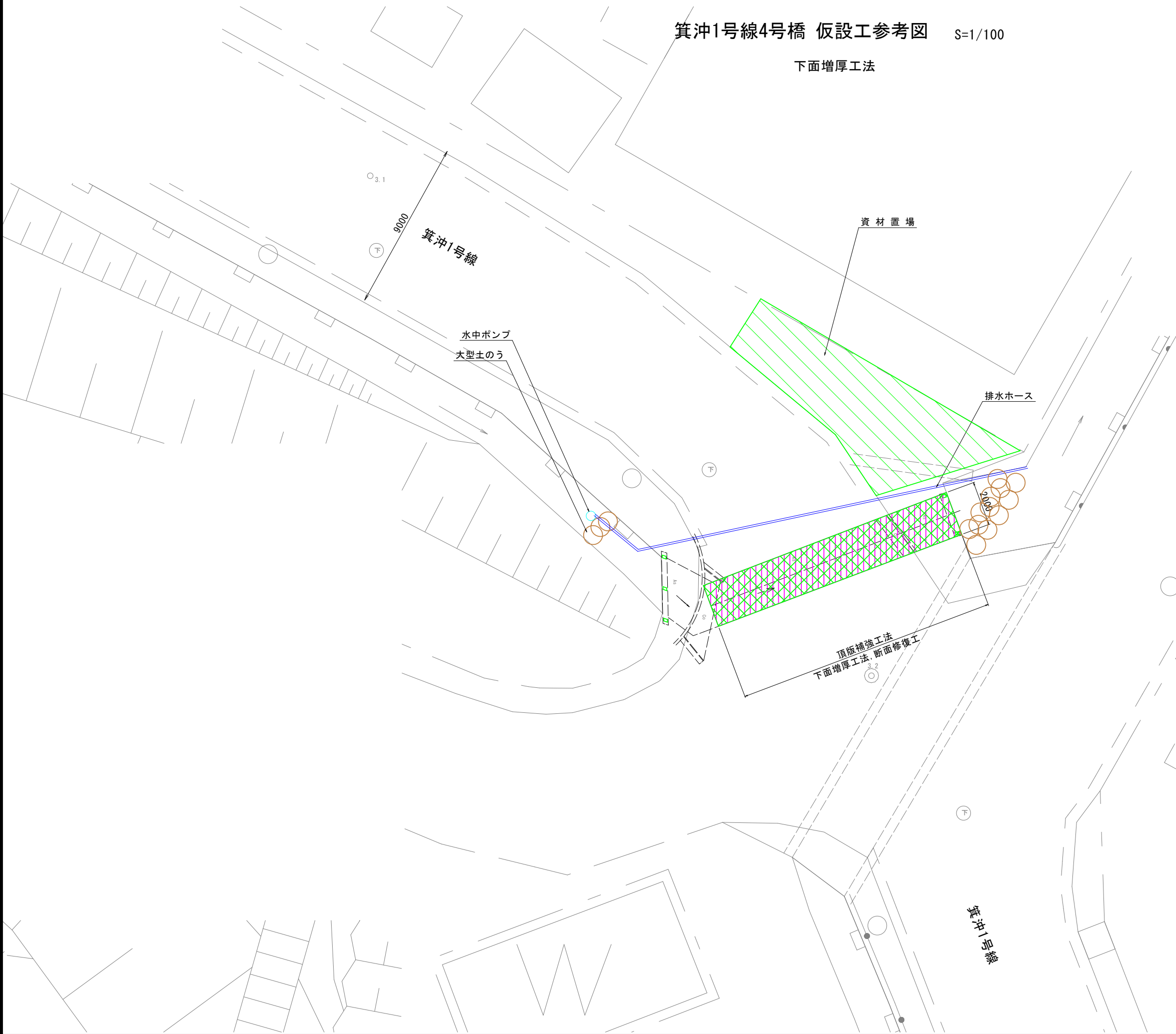
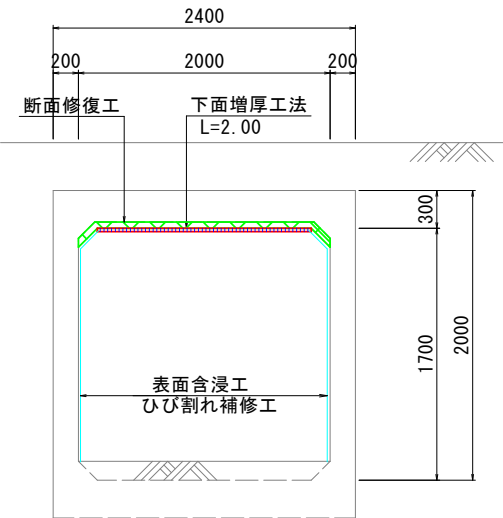
雑 工			1式当り
名称	算 式		数量
表面含浸工 シラン・シロキサン系 亜硝酸リチウム系	●側壁 $1 \quad (1.70 + 0.212) \times 14.00 \times 2 = 53.54$ 0.15*1.414 小計 53.54 ●上下流壁 $2 \quad \text{補修図 (1/4) より} \quad 1.20$ $3 \quad \text{補修図 (1/4) より} \quad 0.62$ 小計 1.82 ●床版 $4 \quad \text{補修図 (3/4) より} \quad 5.78$ 小計 5.78 合計 61.14 m2		61.14 m2
下面増厚工 スーパー保全式工法	・主筋補強率40% $9.00 \times 1.70 = 15.30 \text{ m2}$ ・主筋補強率70% $5.00 \times 1.70 = 8.50 \text{ m2}$ 合計 23.80 m2		23.80 m2
水切り工	・EPDM系ゴム (25×20×1,000) 補修図 (1/4) 及び補修図 (3/4) より $2.00 + 2.45 = 4.45 \text{ m}$		4.45 m
排水管設置工	・SUS304 φ76.3 補修図 (3/4) より 0.60 m		0.60 m
橋梁用防護柵工 防護柵工	・アルミ合金製高欄兼用車両用防護柵 (C種) Aタイプ (定着＝鋼製ベース＋樹脂カプセルアンカー式) 補修図 (2/4) より 2.5 m Bタイプ (定着＝鋼製ベース＋樹脂カプセルアンカー式) 補修図 (2/4) より 4.0 m 合計 6.5 m		6.5 m
防護柵撤去工	$2.5 + 4.0 = 6.5 \text{ m}$		6.5 m

雑 工		1式当り
名称	算 式	数量
舗装打換え工 舗装撤去工	・ アスファルト舗装版切断 補修図 (2/4) より $7.90 + 12.00 + 1.15 + 1.24 = 22.29 \text{ m}$	22.29 m
	・ アスファルト舗装破碎(車道部 (t=5cm)) 補修図 (2/4) より 55.2 m^2	55.2 m ²
	・ アスファルト舗装破碎(歩道部 (t=3cm)) 補修図 (2/4) より 7.2 m^2	7.2 m ²
	合計 62.4 m ²	62.4 m ²
アスファルト殻運搬・処理	・ アスファルト殻 (車道部) $55.2 \times 0.05 = 2.76 \text{ m}^3$	2.76 m ³
	(歩道部) $7.2 \times 0.03 = 0.22 \text{ m}^3$	0.22 m ³
	合計 2.98 m ²	2.98 m ²
	・ アスファルト殻処理 (車道部) $2.76 \times 2.35 = 6.49 \text{ m}^3$	6.49 m ³
舗装打換え工	(歩道部) $0.22 \times 2.20 = 0.48 \text{ m}^3$	0.48 m ³
	合計 6.97 m ²	6.97 m ²
	・ 不陸整正 (補足材料無し) $30.0 + 7.2 = 37.2 \text{ m}^2$	37.2 m ²
	・ アスファルト舗装(車道部) 表層 50mm (PK-3) 補修図 (2/4) より 30.0 m^2	30.0 m ²
橋面防水工	・ アスファルト舗装(車道部) 表層 50mm (瀝青材料無し) 補修図 (2/4) より 25.2 m^2	25.2 m ²
	・ アスファルト舗装(歩道部) 表層 30mm 補修図 (2/4) より 7.2 m^2	7.2 m ²
	・ 塗膜系防水層 補修図 (2/4) より 25.2 m^2	25.2 m ²

箕沖1号線4号橋 仮設工参考図 S=1/100

下面増厚工法

既設函渠工 S=1/30



※この図面は縮小しています：A1→A3
設計年月：2026年（令和8年）10月

図面番号	-	縮 尺	図 示
工 種	橋梁修繕工事		
種 別	仮設工参考図		番 号 1 / 1
路 線 名	箕沖 1 号線 4 号橋		
工事箇所	福山市 箕沖町 地内		
福 山 市			

